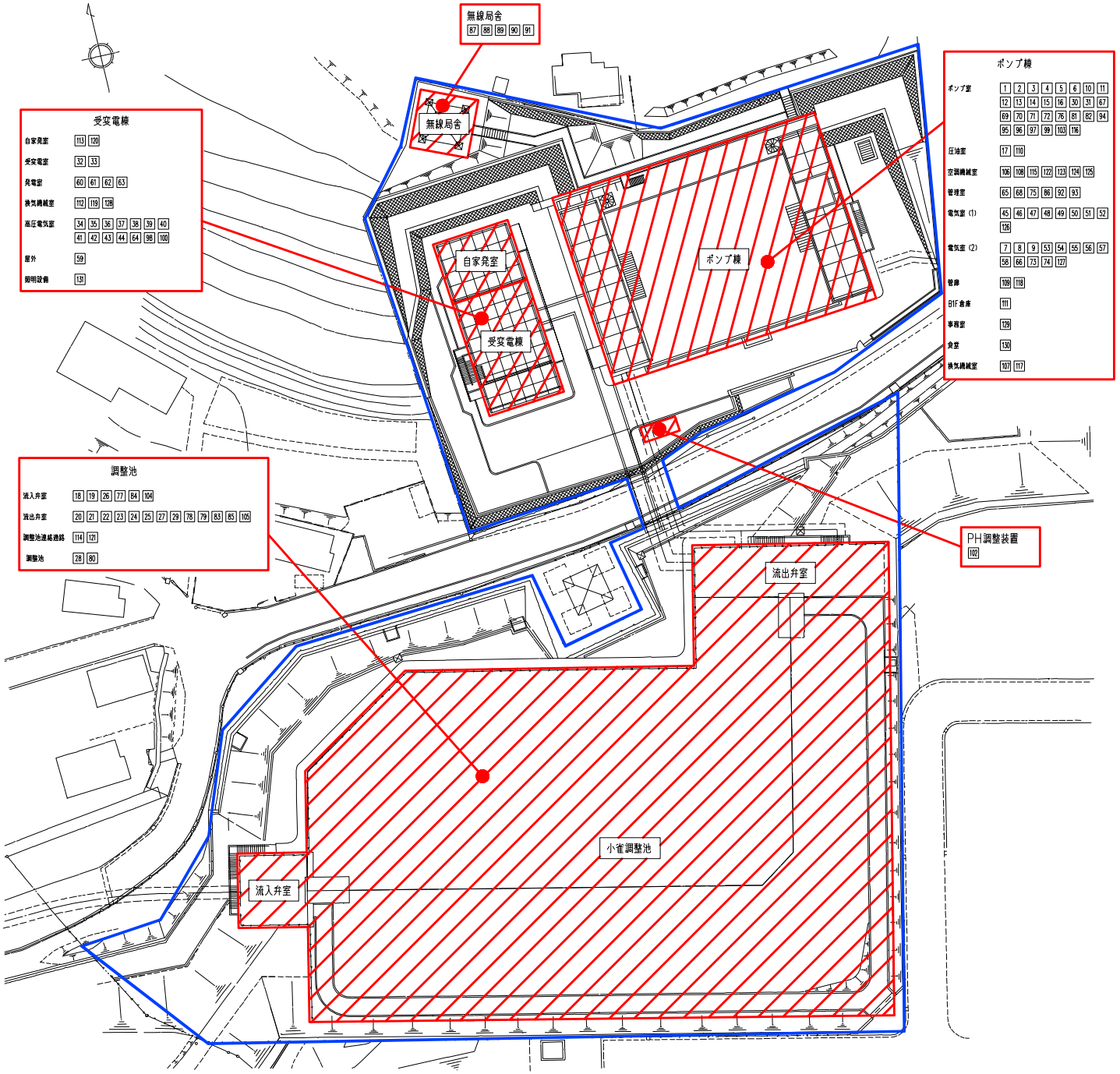
【別紙１】対象設備位置図（S=1/1200）

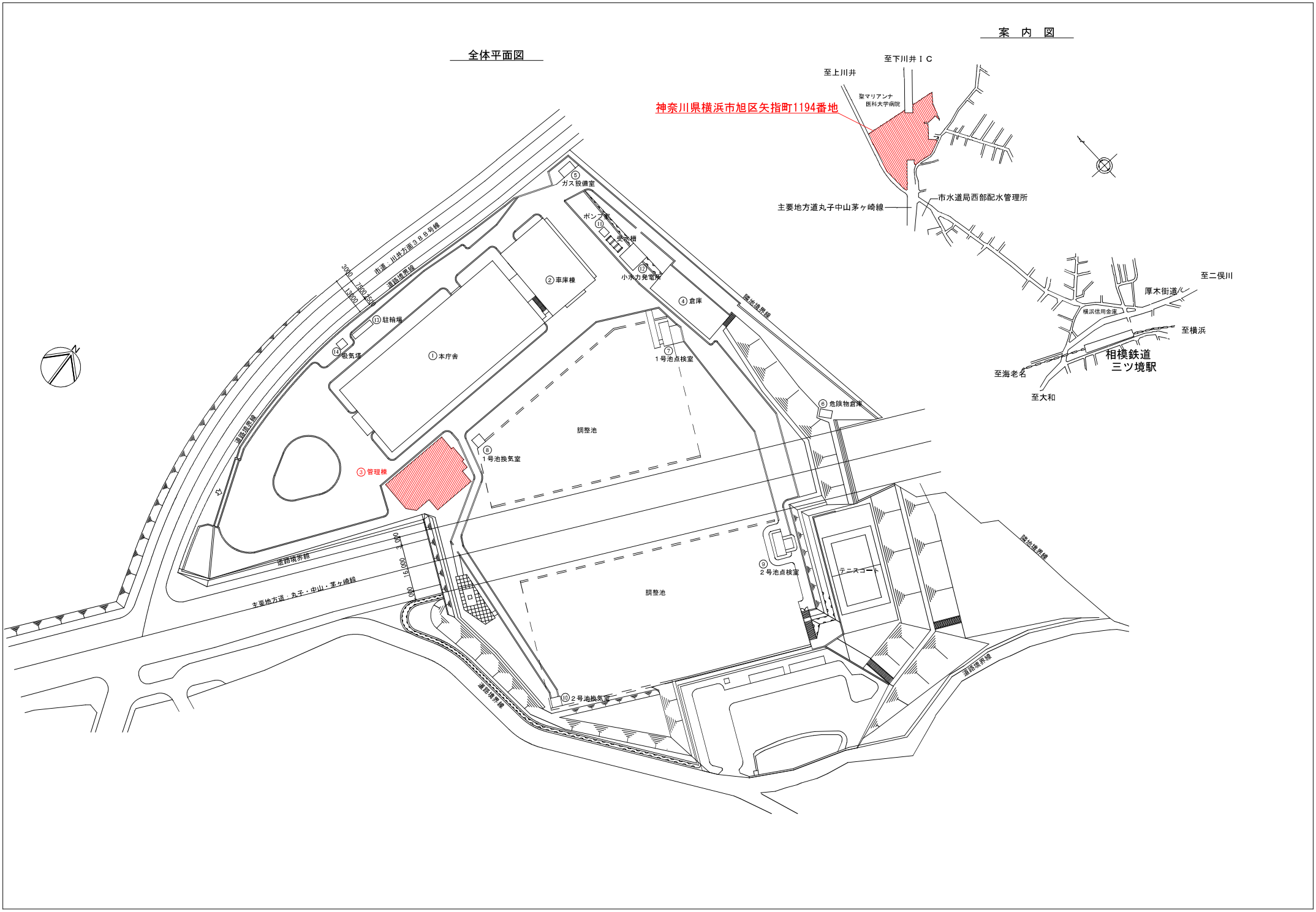


小雀ポンプ場DBM方式導入に関する対象設備一覧

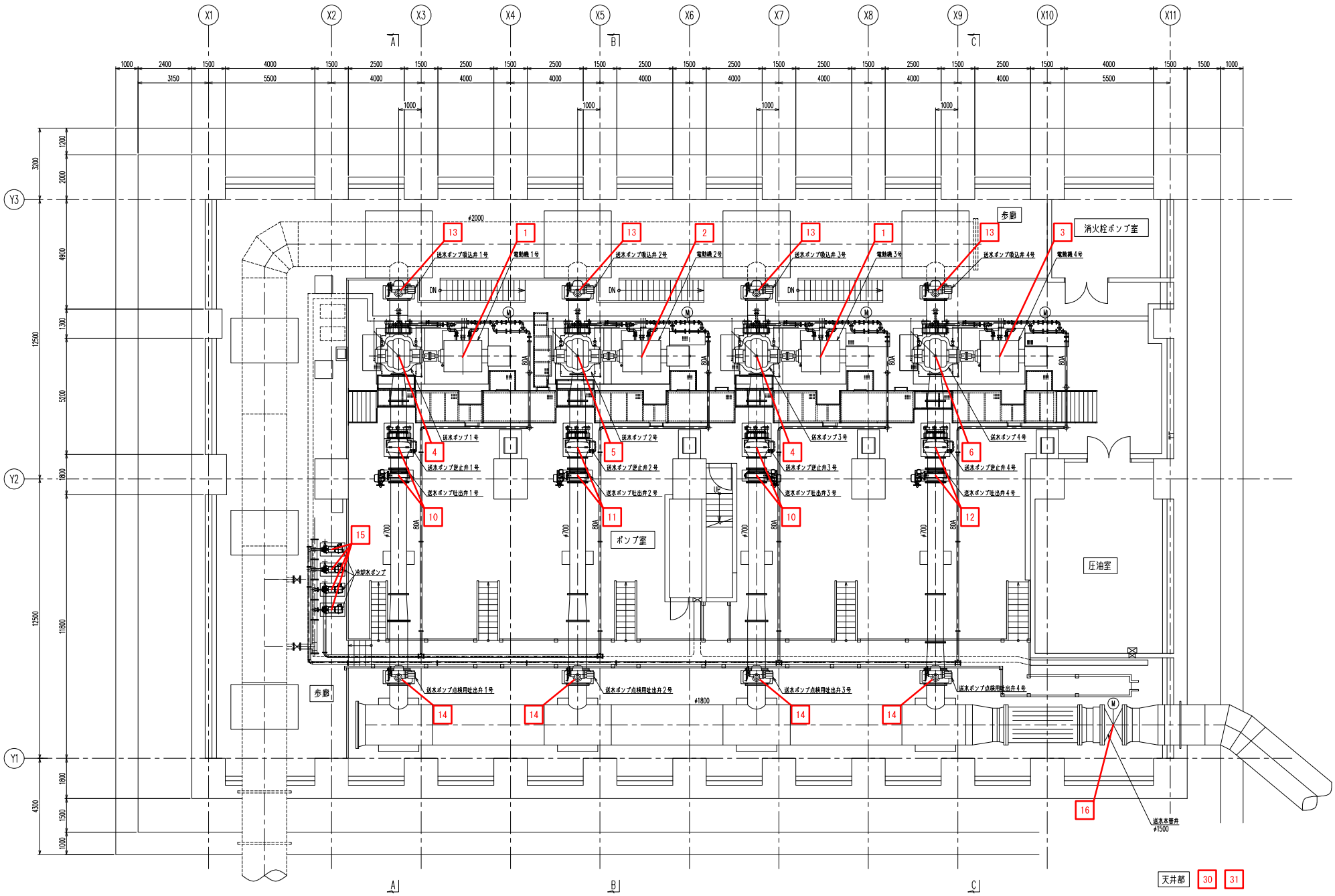
No.	名称			No.	名称		
1	送水ポンプ	電動機	1, 3 号	71	監視制御設備	ロート弁圧油ポンプ空気圧縮機現場盤	
2			2 号	72		エアドライヤー電源分岐盤	
3			4 号	73		計装盤	
4		ポンプ	1, 3 号	74		共通補助継電器盤	
5			2 号	75		CCTV	
6			4 号	76	計装設備	送水流量計	
7		速度制御装置	1, 3 号	77		調整池流入流量計	
8			2 号	78		供給流量計	
9			4 号	79		融通流量計	
10	主ポンプ吐出弁		1, 3 号	80		No. 1/No. 2 小雀調整池水位計	
11			2 号	81		送水圧力計	
12			4 号	82		送水ポンプ入口圧力計	
13	送水ポンプ乗込側仕切弁		1~4 号	83		供給残留塩素計	
14	送水ポンプ吐出側仕切弁		1~4 号	84		小雀調整池入口濁度計	
15	冷却水ポンプ		1, 2 号	85		小雀調整池出口濁度計	
16	送水本管弁			86	無線設備	無線設備収容架(マルチメディア時分割多重装置)	
17	圧油設備(ロート弁駆動用)(蓄圧)			87		無線設備収容架	
18	調整池流入仕切弁		1~2 号	88		センター向け 第 1・第 2装置	
19	調整池流入バタ弁		1~2 号	89		交流分電盤(直用)	
20	調整池供給仕切弁		1~2 号	90		引込分電盤	
21	供給スルース弁			91		デハイトレータ	
22	供給バタ弁			92		衛星携帯電話設備	
23	調整池供給バイパス弁			93	消防設備	ハロン消化制御盤	
24	調整池流出バタ弁		1~2 号	94		消火ポンプ制御盤	
25	調整池バイパス弁		2 号	95		消火栓ポンプ盤	
26			1 号	96		小雀消防設備開閉器盤	
27	融通スルース弁			97		消火栓ポンプ室排気ファン	
28	水没式バタ弁		1~2 号	98		ハロン消化設備端子盤	
29	融通バタ弁			99		消火補給水槽	
30	搬入用天井クレーン			100		ハロン消化設備	
31	天井クレーン			101		消火設備	
32	特高受変電設備	ガス絶縁開閉装置		102	給排水衛生・ガス設備	中和設備	
33		主変圧器		103		排水ポンプ	1~2 号
34	高低圧電気設備	高圧配電盤		104		流入弁室排水ポンプ	
35		アクティブフィルタ盤		105		流出弁室排水ポンプ	
36		アクティブフィルタ変圧器盤		106		排気ファン	ポンプ室
37		進相コンデンサ盤		107			電気室
38		特高電気盤		108			空調機室
39		建築付帯設備分電盤		109			管廊
40		照明設備分電盤		110			圧油室
41		受変電棟接地端子盤		111			BIF機室
42		東電期引計器盤		112			特高
43		東電中継端子盤		113			自家発室
44		作業電源盤		114			調整池管廊
45		高圧配電盤		115		給気ファン	空調機械室
46		進相コンデンサ盤		116			ポンプ室
47		照明変圧器盤		117			電気室
48		動力変圧器盤		118			管廊
49		低圧分電盤(400V分電, 200V分電, No1照明分電)		119			特高
50		低圧動力分岐盤		120			自家発室
51		電力変換器盤		121			調整池管廊
52		接地端子盤		122		排気ファン盤	
53		コントロールセンター		123		排煙機	
54		直流電源装置		124	空調設備	パッケージエアコン	管理室
55		笠沿本管弁用無停電電源装置		125			
56		制御用無停電電源装置		126			電気室1
57		無停電電源分岐盤		127			電気室2
58		制御用分電盤		128			電気室3
59	非常用発電設備	地下燃料タンク		129			事務室
60		非常用発電設備電気盤		130			食堂
61		燃料移送ポンプ		131	照明設備	屋内設備	
62		燃料小出着		132		外灯設備	
63		非常用発電設備本体		133	電話設備	交換機	
64		自家発室給気ファン操作盤		134		多機能電話機	
65	監視制御設備	中央処理装置		135		一般電話機	
66		PLC盤		136		FAX	
67		リモート入出力装置		137		コードレス用アンテナ	
68		プリンタ		138		コードレス電話機	
69		冷却水ポンプ盤		139	水源用センター	インターフェイス伝送用 PLC	
70		笠沿本管弁盤			監視制御設備	小雀ポンプ場インターフェイス用 PLC	

・・・事業範囲

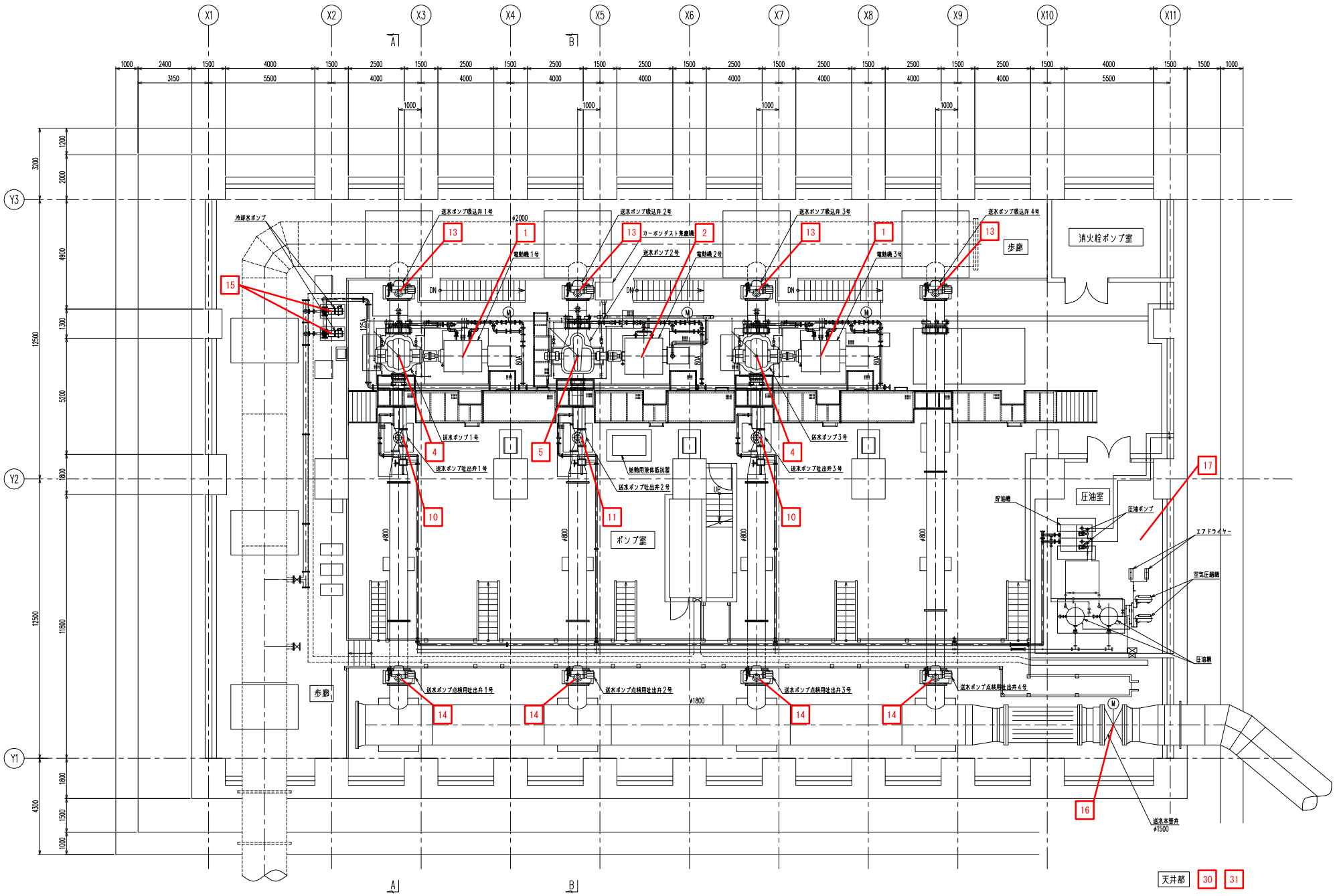
水運用センター　案内図


全体平面図
案　内　図
至下川井ＩＣ
至上川井
聖マリアンナ
医科大学病院
神奈川県横浜市旭区矢指町1194番地
主要地方道丸子中山茅ヶ崎線
市水道局西部配水管理所
至二俣川
厚木街道
横浜信用金庫
至横浜
相模鉄道
三ツ境駅
至海老名
至大和
市道　川井方面３８８号線
道路境界線
隣地境界線
主要地方道　丸子・中山・茅ヶ崎線
① 本庁舎
② 車庫棟
③ 管理棟
④ 倉庫
⑤ ガス設備室
⑥ 危険物倉庫
⑦ １号池点検室
⑧ １号池換気室
⑨ ２号池点検室
⑩ ２号池換気室
⑩ 駐輪場
⑪ ポンプ室
⑪ 受水槽
⑫ 小水力発電所
⑭ 吸気塔
調整池
調整池
テニスコート
3040
7500
13400
16000

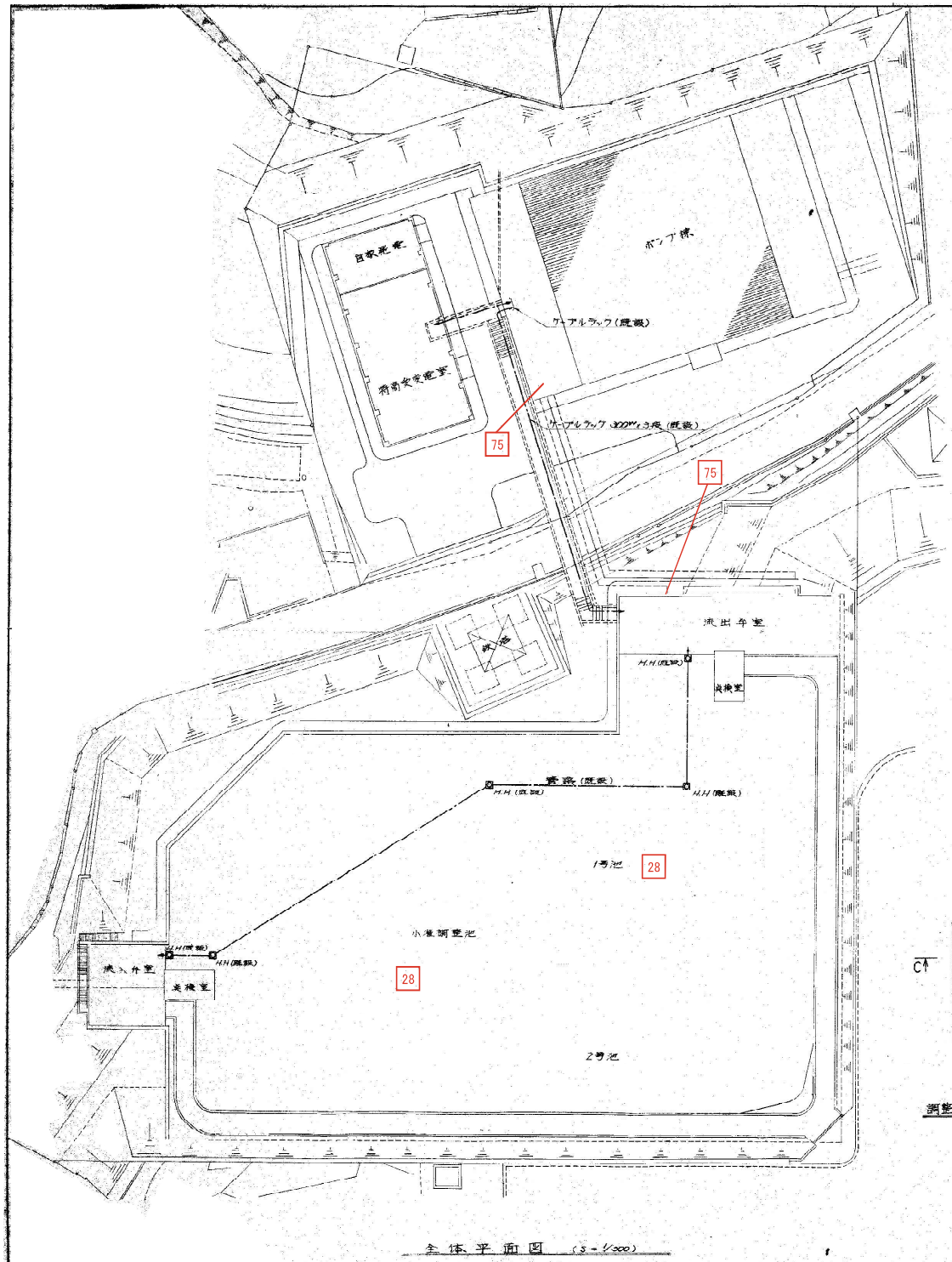
ポンプ棟　ポンプ室平面図（更新）（S=1/80）



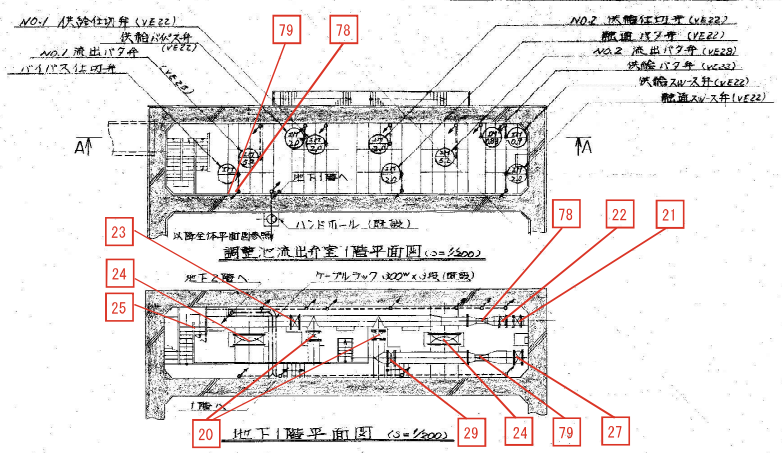
ポンプ棟　ポンプ室平面図（撤去）（S=1/80）

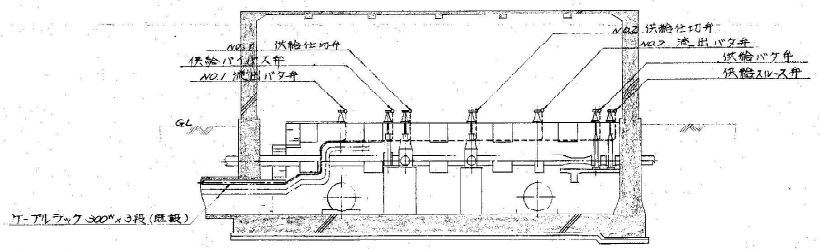


小雀調整池　平面図・断面図

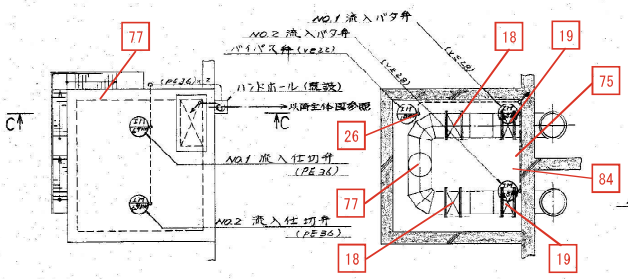


全体平面図 (S=1/300)



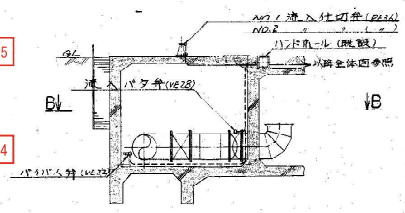


A－A 断面図 (S=1/200)



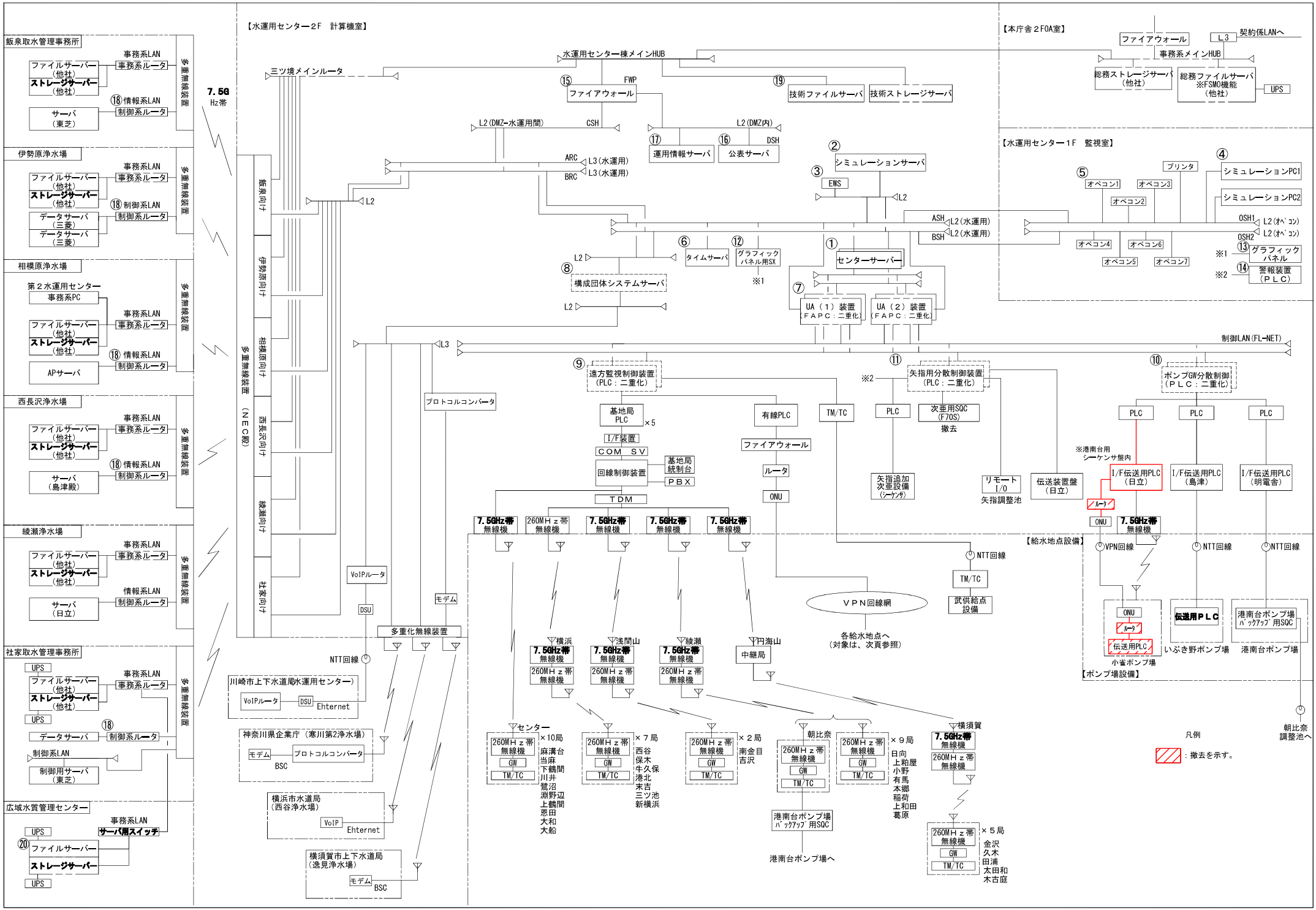
調整池流入弁室平面図 (S=1/200)

B－B 断面図 (S=1/200)

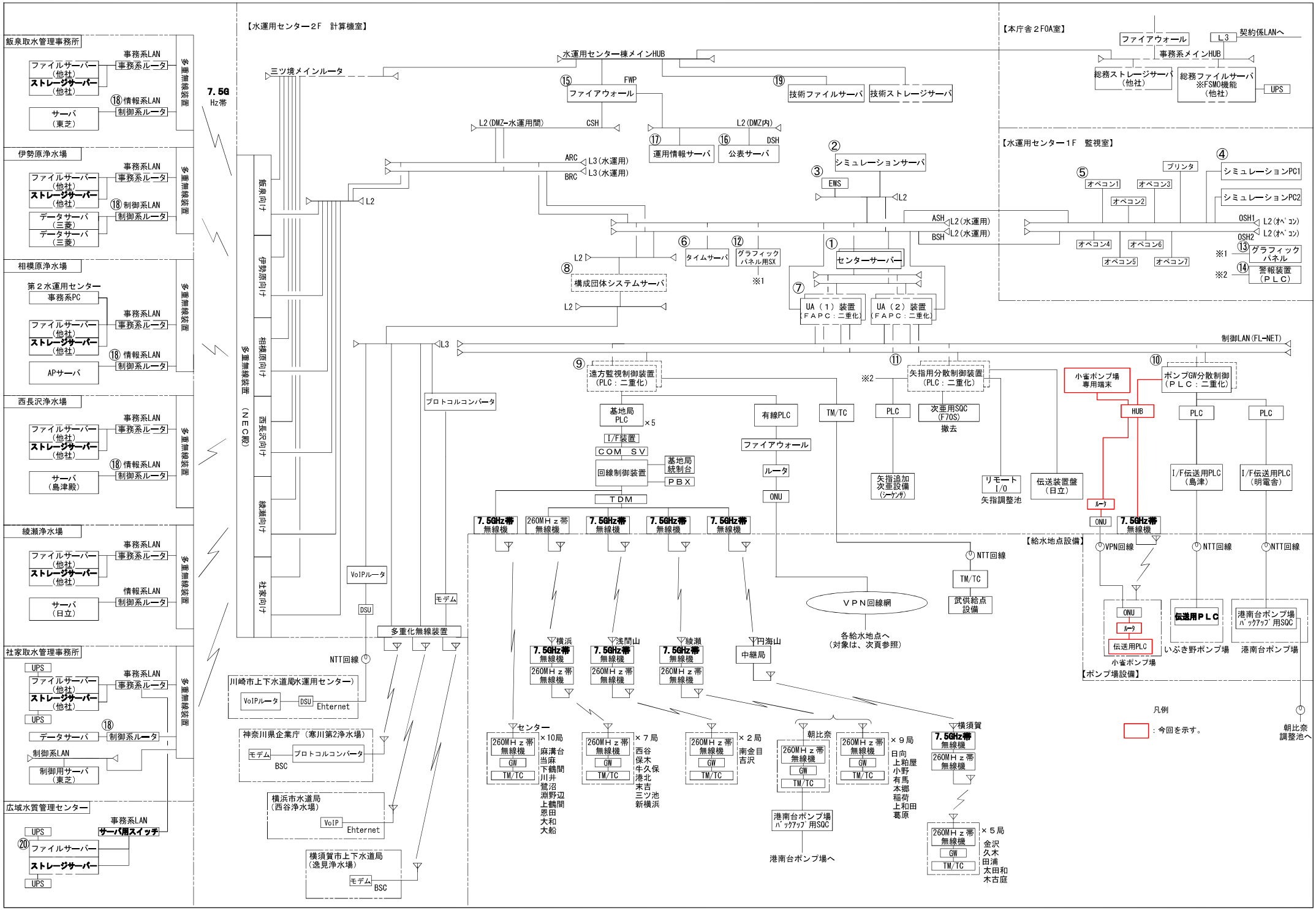


C－C 断面図 (S=1/200)

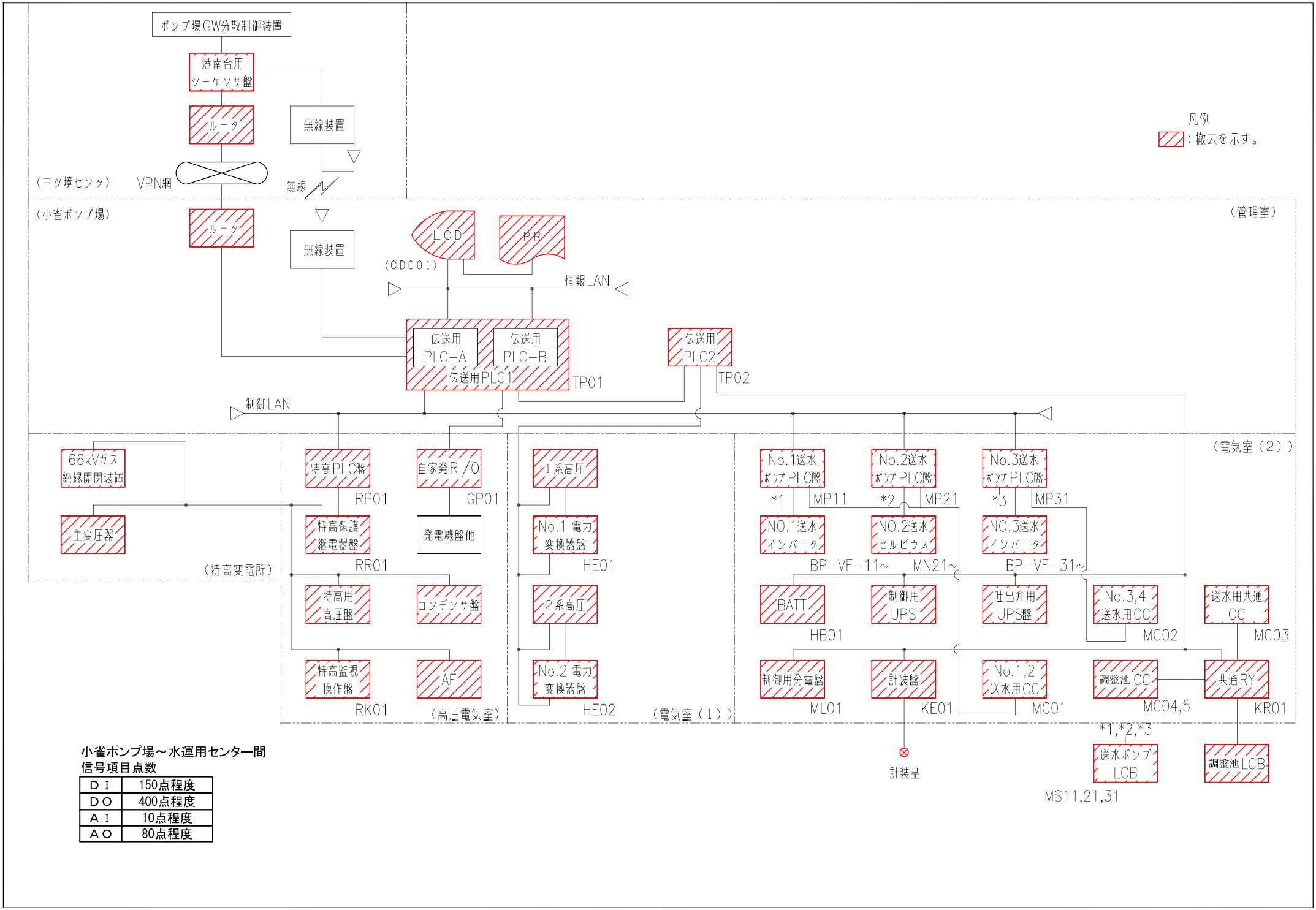
センターシステム構成図（既設）



センターシステム構成図（更新）



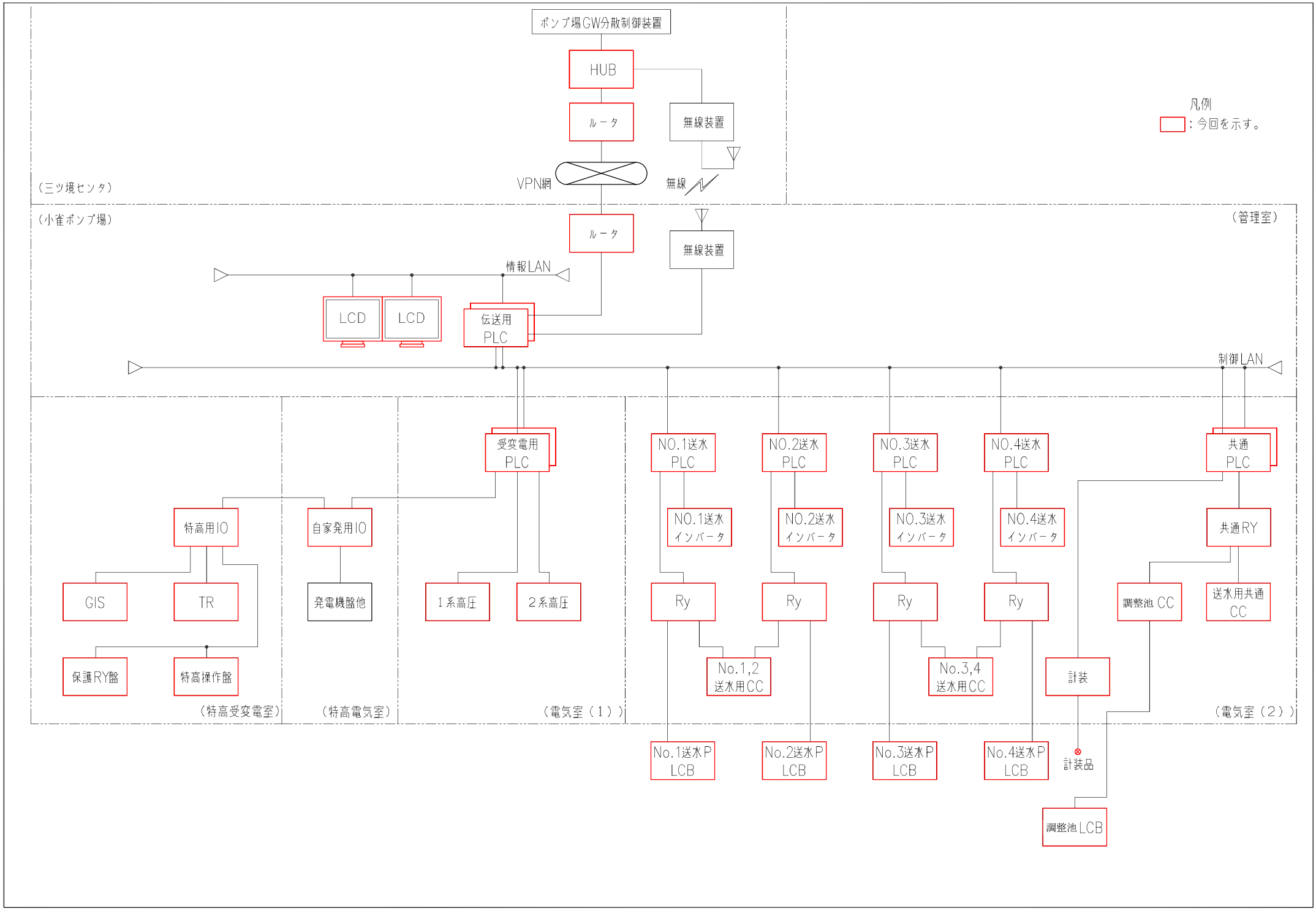
小雀ポンプ場システム構成図（既設）



小雀ポンプ場～水運用センター間
信号項目点数

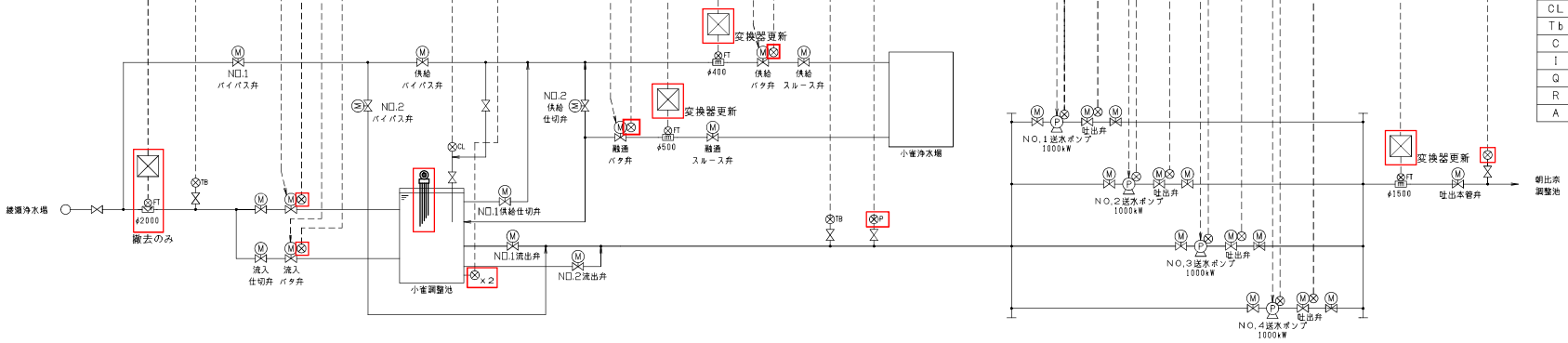
ＤＩ	150点程度
ＤＯ	400点程度
ＡＩ	10点程度
ＡＯ	80点程度

小雀ポンプ場システム構成図（更新）



計装フローシート

計測項目		小雀調整池流入流量	小雀調整池流入口濁度	NO.1流入バタ弁開度	NO.2流入バタ弁開度	供給残留塩素	小雀調整池水位	融通バタ弁開度	融通流量	供給流量	供給バタ弁開度	小雀調整池出口濁度	送水ポンプ入口圧力	NO.1送水ポンプ回転数	NO.1吐出弁開度	NO.2送水ポンプ回転数	NO.2吐出弁開度	NO.3送水ポンプ回転数	NO.3吐出弁開度	NO.4送水ポンプ回転数	NO.4吐出弁開度	送水流量	送水圧力
数量	全体	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	今回	0	0	1	1	0	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	既設	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1
管理センタ																							
中央監視室	無線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	LCD	○	○	開度設定 ○	開度設定 ○	○	○	開度設定 ○	○	○	開度設定 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伝送用PLC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伝送路	光ケーブル																					
電気室	共通用PLC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	計装盤	I/I DB	I/I DB	I/I DB	I/I DB	I/I	I/I LA DB	I/I DB	I/I FQ	I/I FQ	I/I DB	I/I DB	I/I LA DB									I/I FQ	I/I LA DB
	INV盤													速度制御装置	速度制御装置	速度制御装置	速度制御装置						
現場																							



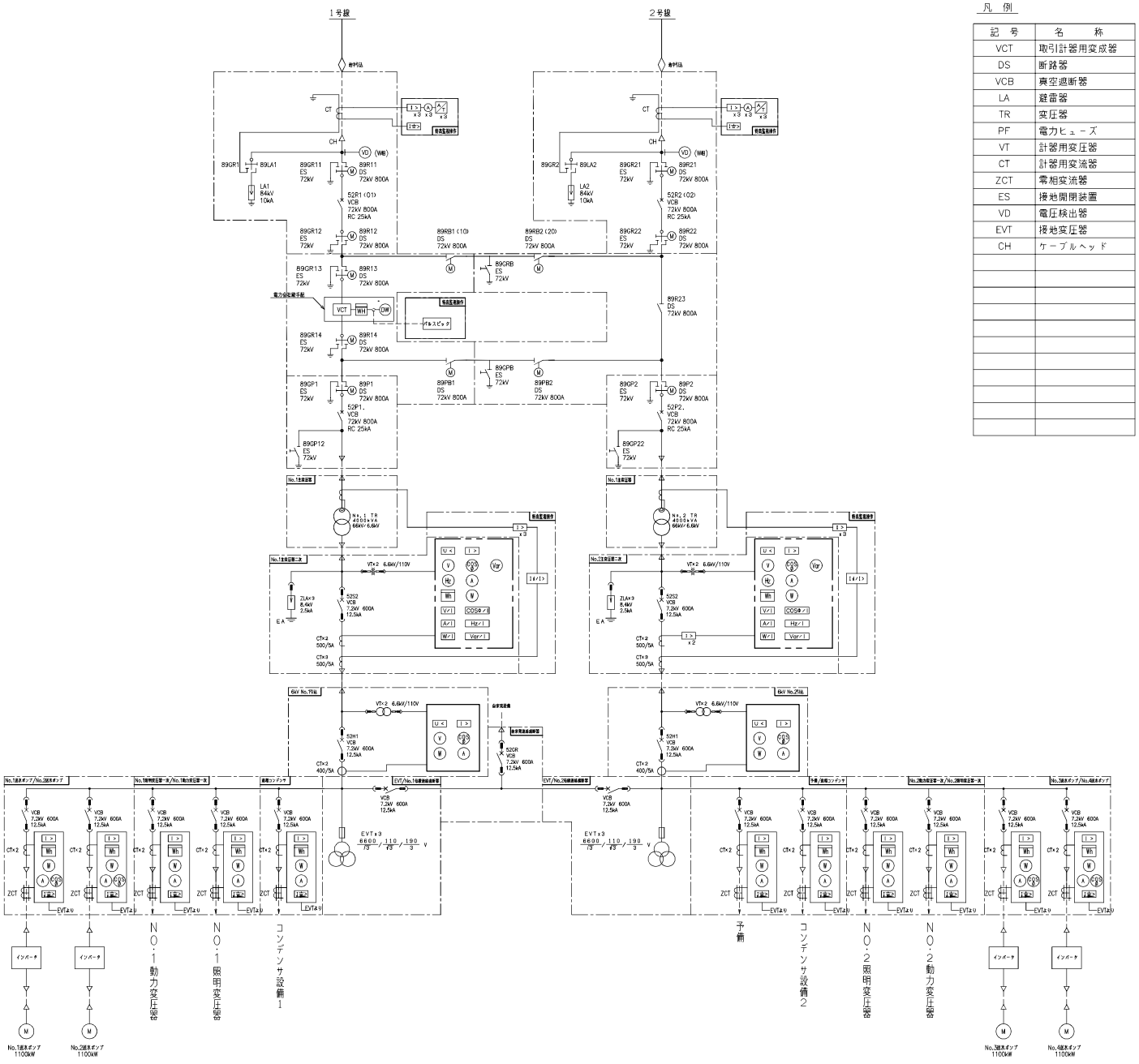
凡　例

記号	名　称	記号	名　称
L	水位又は液位		アレスタ
F	流　量	I/I	アイソレータ
P	圧　力	DB	ディストリビュータ
Z	開　度	⊗	発信器
CL	残　塩	FT	電磁流量計
Tb	濁　度	FT	超音波流量計
C	色　度	CL	残留塩素計
I	指　示	PT	圧力計
Q	積　算	LT	投込式水位計
R	記　録	P/V	パルス/電圧変換器
A	警報設定器		

注記）

1．□は、今回を示す。

単線結線図（特高）



凡 例

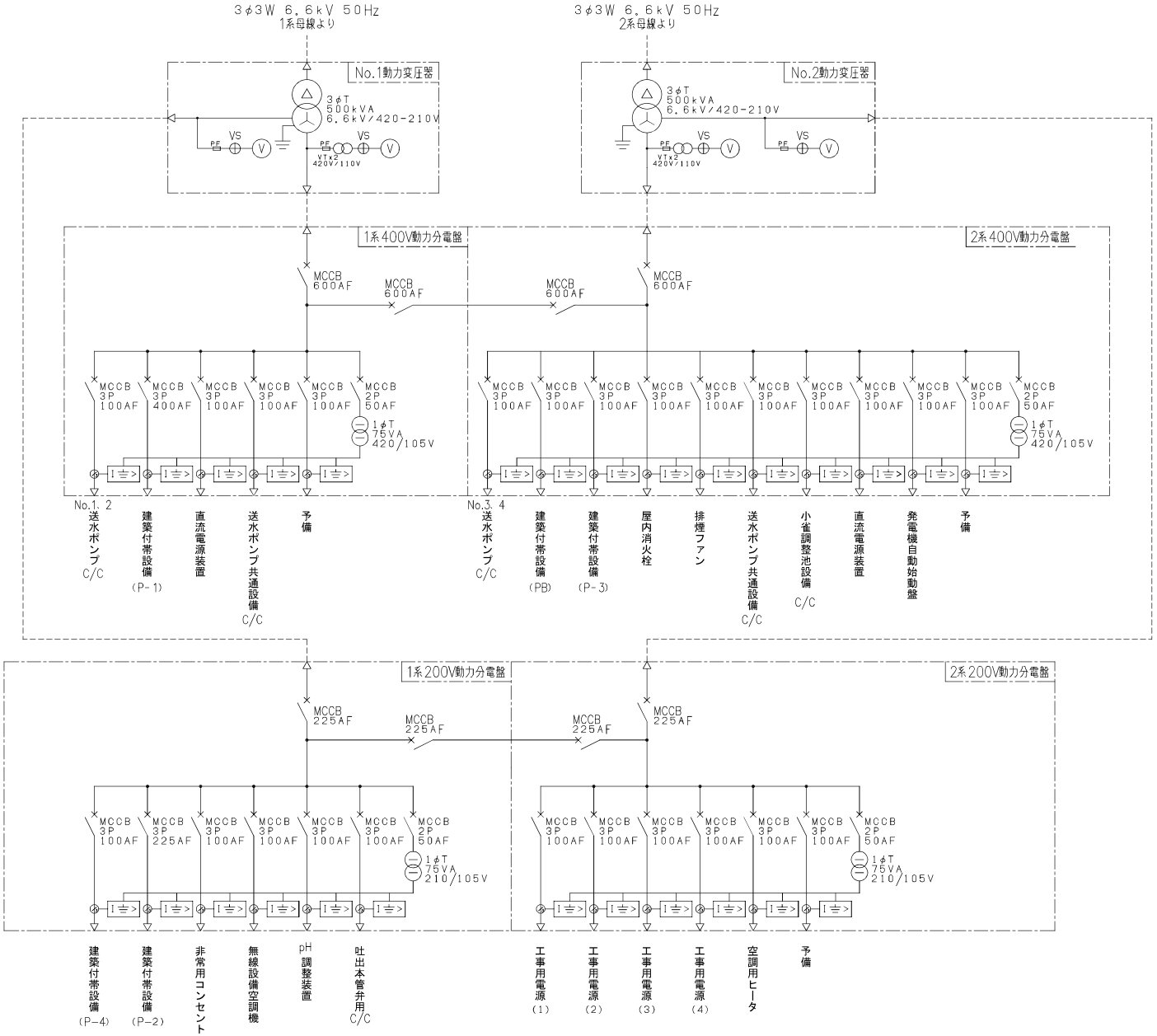
記 号	名 称
VCT	取引計器用変成器
DS	断路器
VCB	真空遮断器
LA	避雷器
TR	変圧器
PF	電力ヒューズ
VT	計器用変圧器
CT	計器用変流器
ZCT	零相変流器
ES	接地開閉装置
VD	電圧検出器
EVT	接地変圧器
CH	ケーブルヘッド

記 号	名 称
A	電流計
V	電圧計
Wh	積算電力計
W	電力計
cosφ	力率計
Hz	周波数計
Var	無効電力計
V／I	電圧変換器
A／I	電流変換器
W／I	電力変換器
Var／I	無効電力変換器
COSφ／I	力率変換器
I地>	地絡方向継電器
I >	過電流継電器
U <	不足電圧継電器
U地>	地絡過電圧継電器
U >	過電圧継電器
I地>	地絡過電流継電器
Id／I>	比率差動継電器

注）

1．すべて今回を示す。

単線結線図（低圧）



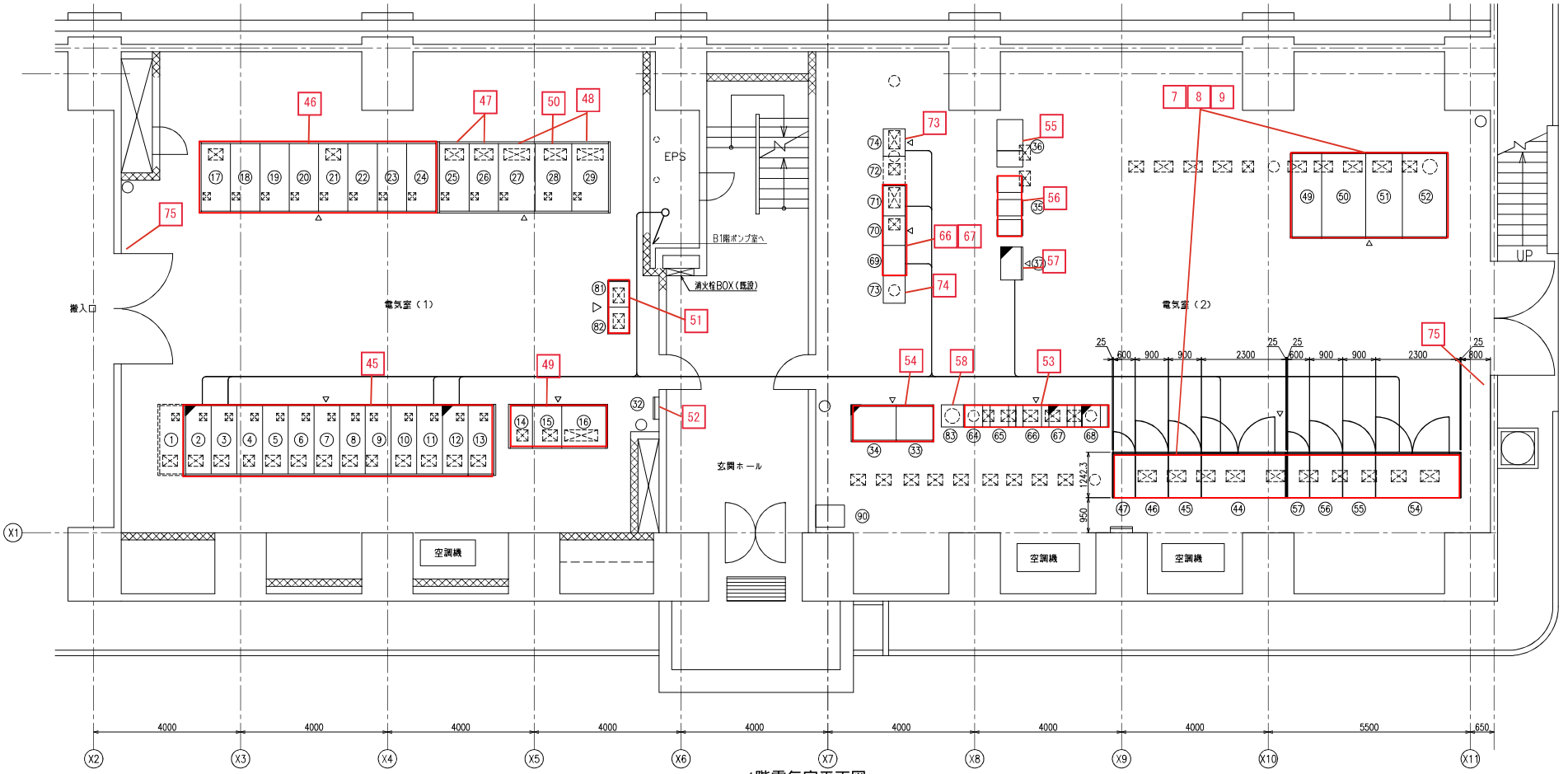
凡例

記号	名称
GT	ガスタービン
ACG	交流発電機
VCB	真空遮断器
VMC	真空電磁接触器
PF	電力ヒューズ
MCCB	配線用遮断器
T	変圧器
EVT	接地形計器用変圧器
CT	変流器
Ⓥ	電圧計
Ⓐ	電流計
⊕VS	電圧計切換スイッチ
⊕AS	電流計切換スイッチ
Ⓦ	電圧計
cosφ	力率計
Hz	周波数計
Wh	電力量計
U<	交流不足電圧継電器
I>	交流過電流継電器
I0>	地絡過電流継電器
U0>	地絡過電圧継電器
I0<	地絡方向継電器
U>	交流過電圧継電器
Id>	差動継電器

注）

1．すべて今回を示す。

ポンプ棟　１階電気室平面図　S=1/60



1階電気室平面図
S=1:60

機器一覧表

記号	盤番	盤名称	備考
(1)	#HH26	No.4送水ポンプ/インバータ変圧器一次	
(2)	〃 25	No.3 〃 /インバータ変圧器一次	
(3)	〃 24	No.2制御変圧器/コンデンサ主幹	
(4)	〃 23	No.2母線PT/動力変圧器一次	
(5)	〃 22	No.2電源PT/6kV引込	
(6)	〃 21	No.2母線連絡/照明変圧器一次	
(7)	〃 01	発電機連絡/ ――	
(8)	〃 11	No.1母線連絡/照明変圧器一次	
(9)	〃 12	No.1電源PT/6kV引込	
(10)	〃 13	No.1母線PT/動力変圧器一次	
(11)	〃 14	No.1制御変圧器/コンデンサ主幹	
(12)	〃 15	No.1送水ポンプ/インバータ変圧器一次	
(13)	〃 16	No.2送水ポンプ/インバータ変圧器一次	
(14)	#HM03	200V分電	
(15)	〃 02	No.1照明分電	
(16)	〃 01	400V分電	
(17)	#HC11	1-1コンデンサ（250kVA）	
(18)	〃 12	1-2 〃 （500kVA）	
(19)	〃 13	1-3 〃 （ 〃 ）	
(20)	〃 14	1-4 〃 （ 〃 ）	

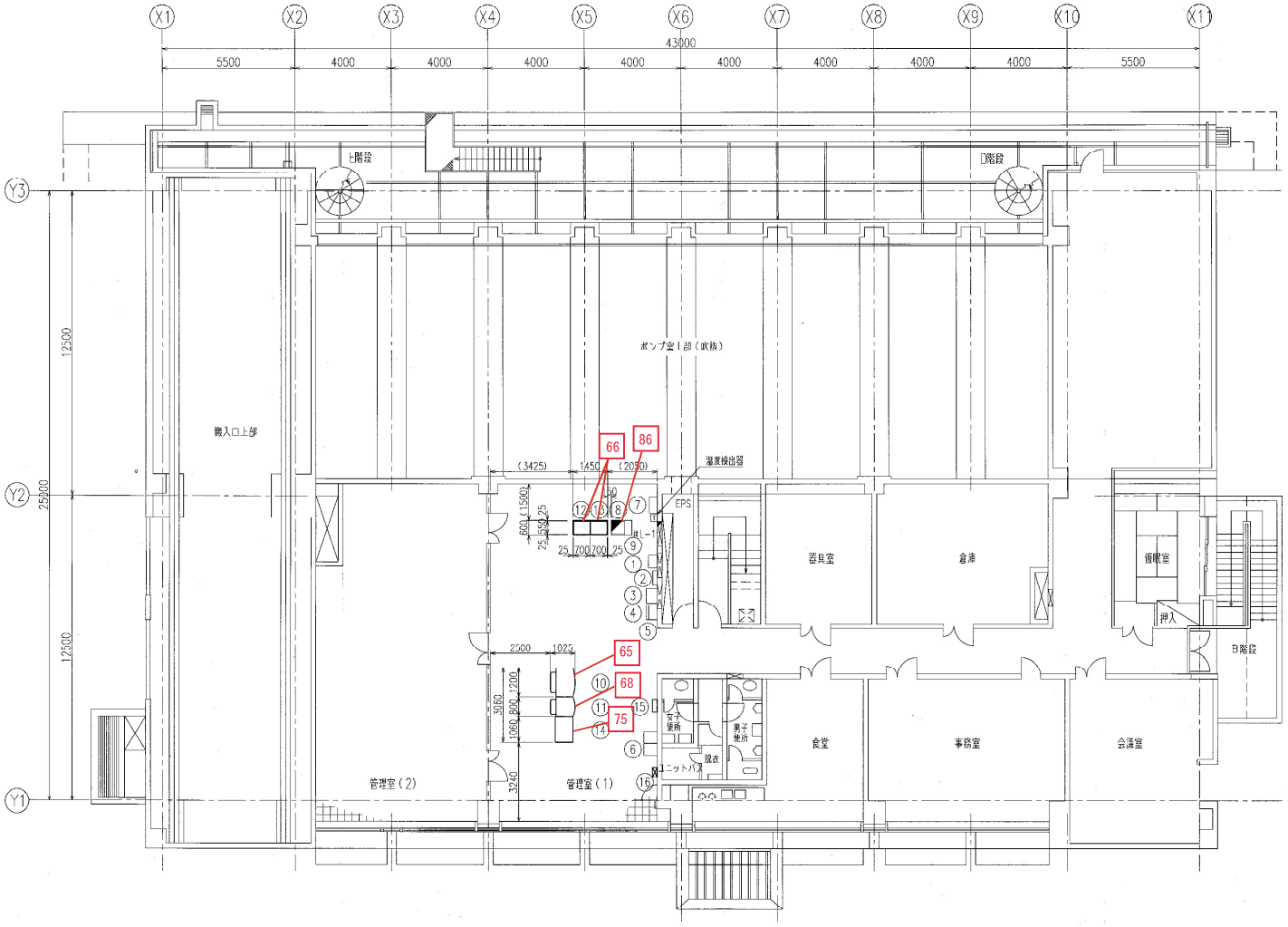
記号	盤番	盤名称	備考
(21)	〃 21	2-1 〃 （250kVA）	
(22)	〃 22	2-2 〃 （500kVA）	
(23)	〃 23	2-3 〃 （ 〃 ）	
(24)	〃 24	2-4 〃 （ 〃 ）	
(25)	#HL12	No.1照明変圧器	
(26)	〃22	No.2 〃	
(27)	〃11	No.1動力変圧器	
(28)	〃01	低圧動力分岐	
(29)	〃21	No.2動力変圧器	
(32)	――	接地端子盤	
(33)		蓄電池	
(34)		整流器盤	
(35)		制御用UPS	
(36)		吐出本管弁用UPS	
(37)		無停電電源分岐盤	

記号	盤番	盤名称	備考
(44)	BP-VF-11	No.1送水ポンプ多重変圧器盤	
(45)	〃 12	No.1送水ポンプインバータ盤1	
(46)	〃 13	No.1送水ポンプインバータ盤2	
(47)	〃 14	No.1送水ポンプ制御盤	
(49)	#MN21	No.2送水ポンプ二次接触器	
(50)	〃 22	〃 〃 SR.HSCB	
(51)	〃 23	〃 〃 THY	
(52)	〃 24	〃 〃 インバータ変圧器	
(54)	BP-VF-31	No.3送水ポンプ多重変圧器盤	
(55)	〃 32	No.3送水ポンプインバータ盤1	
(56)	〃 33	No.3送水ポンプインバータ盤2	
(57)	〃 34	No.3送水ポンプ制御盤	

記号	盤番	盤名称	備考
(64)	#MC05	コントロールセンタ	
(65)	〃 04	〃	
(66)	〃 03	〃	
(67)	〃 02	〃	
(68)	〃 01	〃	
(69)	#MP11	No.1送水ポンプPLC盤	
(70)	#MP21	No.2送水ポンプPLC盤	
(71)	#MP31	No.3送水ポンプPLC盤	
(72)	#MP41	No.4送水ポンプPLC盤	
(73)	#KR01	共通補助継電器盤	
(74)	#KE01	計装盤	

記号	盤番	盤名称	備考
(81)	HE11	No.1電力変換器	
(82)	〃 21	No.2 〃	
(83)	ML01	制御用分電盤	
(90)	HE11	CCTV収納盤	

ポンプ棟　２階平面図　S=1/100

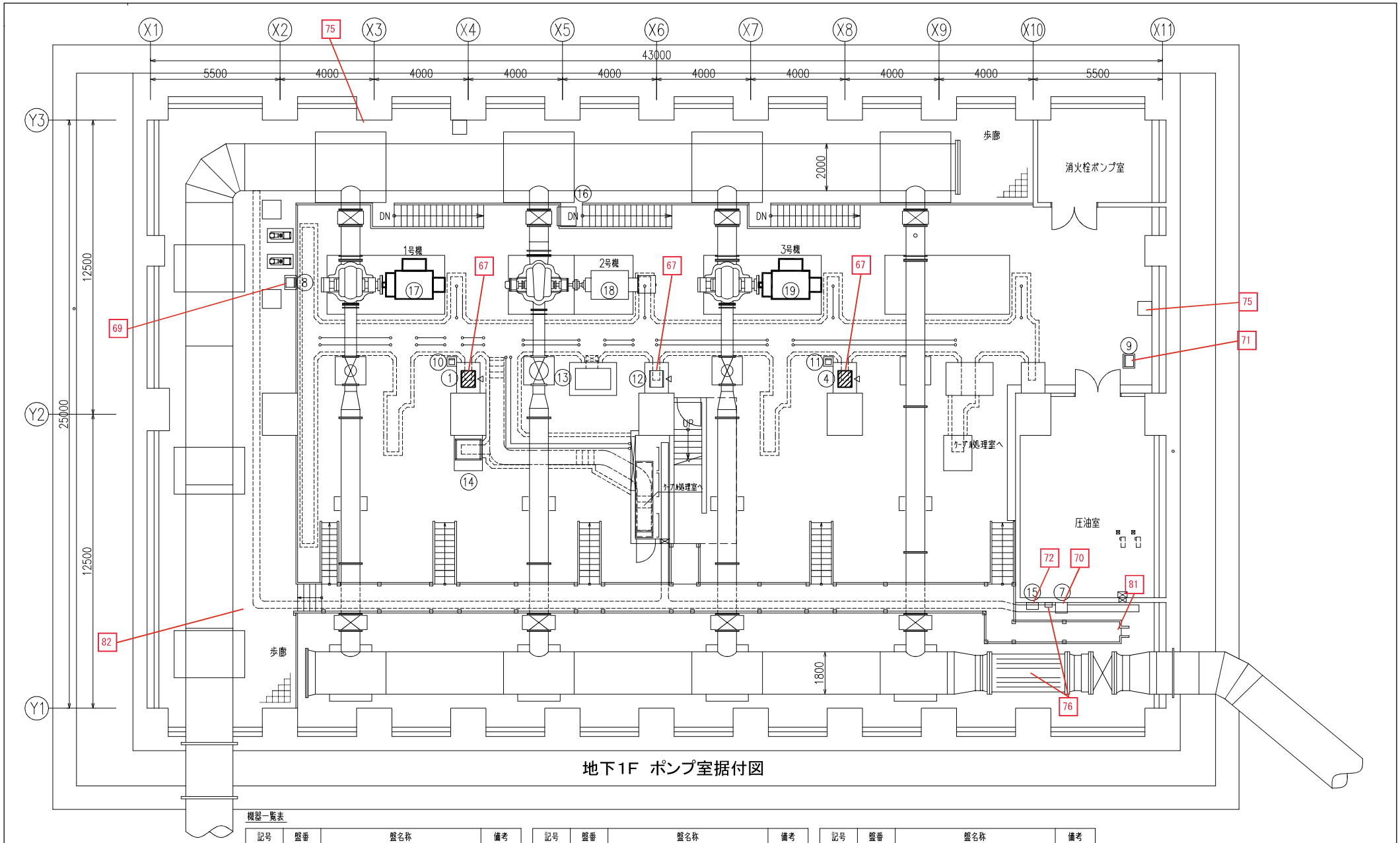


2階平面図
S=1:100

機器一覧表

記号	盤番	盤名称	備考
	共L－1	分電盤	
①		中央監視盤	
②		ハロン1301消火設備制御盤	
③		自動火災報知器	
④		火災用無線装置	
⑤		蓄電池設備	
⑥		電話交換器	
⑦		収納盤	
⑧		マルチメディア時分割多重装置	
⑨		被遠方監視制御装置	
⑩		監視制御装置（LCD）	
⑪		監視制御装置（プリンタ）	
⑫		伝送用PLC1盤	
⑬		伝送用PLC2盤	
⑭		監視操作用PC（CCTV）	
⑮		照明遠方操作盤	
⑯		防火ダンパー制御盤	

ポンプ棟　ポンプ室盤配置図　S=1/100



地下1F　ポンプ室据付図

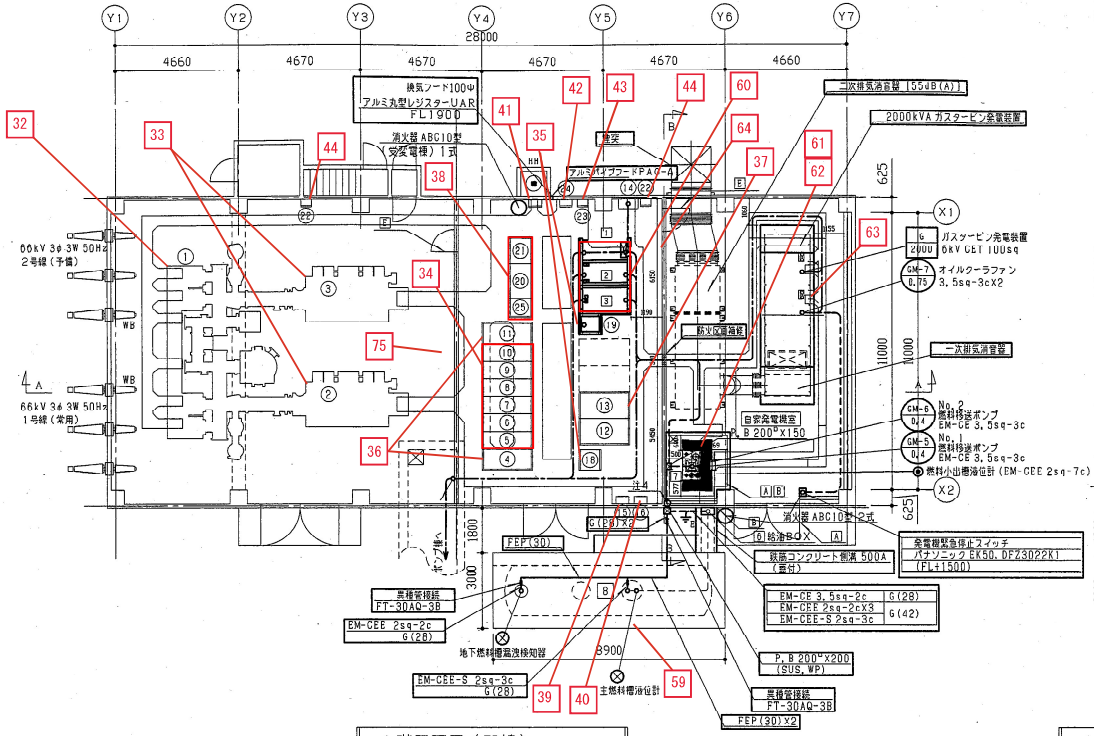
機器一覧表

記号	盤番	盤名称	備考
①	#MS11	No.1 送水ポンプ現場操作盤	
④	#MS31	No.3 送水ポンプ現場操作盤	
⑦	#KS01	吐出本管弁盤	
⑧	#MS02	冷却水ポンプ盤	

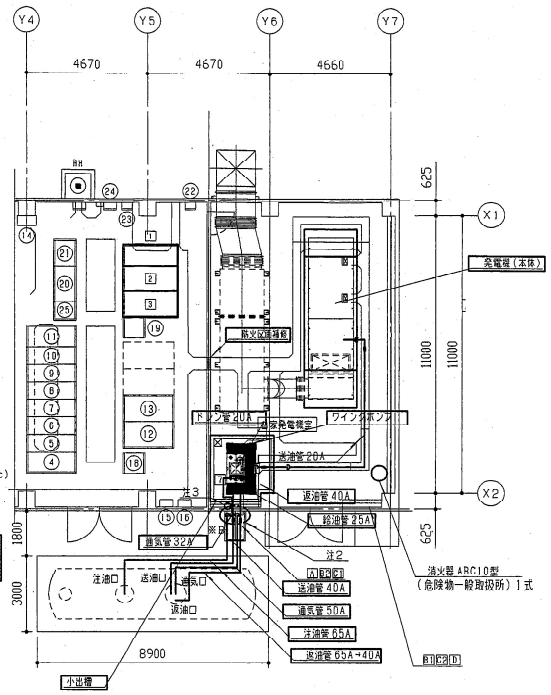
記号	盤番	盤名称	備考
⑨	#MS01	ロート弁圧油ポンプ空気圧縮機盤	
⑩		No.1,2　送水ポンプ振動測定	
⑪		No.3,4　送水ポンプ振動測定	
⑫	#MS21	No.2 送水ポンプ現場操作盤	
⑬		No.2 1450kW始動用液体抵抗器	
⑭	#MS22	No.2 送水ポンプ/液体抵抗器盤	
⑮		エアドライヤー分電盤	
⑯		カーボンダスト集塵装置	

記号	盤番	盤名称	備考
⑰		No.1 送水ポンプ電動機	
⑱		No.2 送水ポンプ電動機	
⑲		No.3 送水ポンプ電動機	

受変電棟　１階平面図　S=1/100



１階平面図（配線）　S=1/100

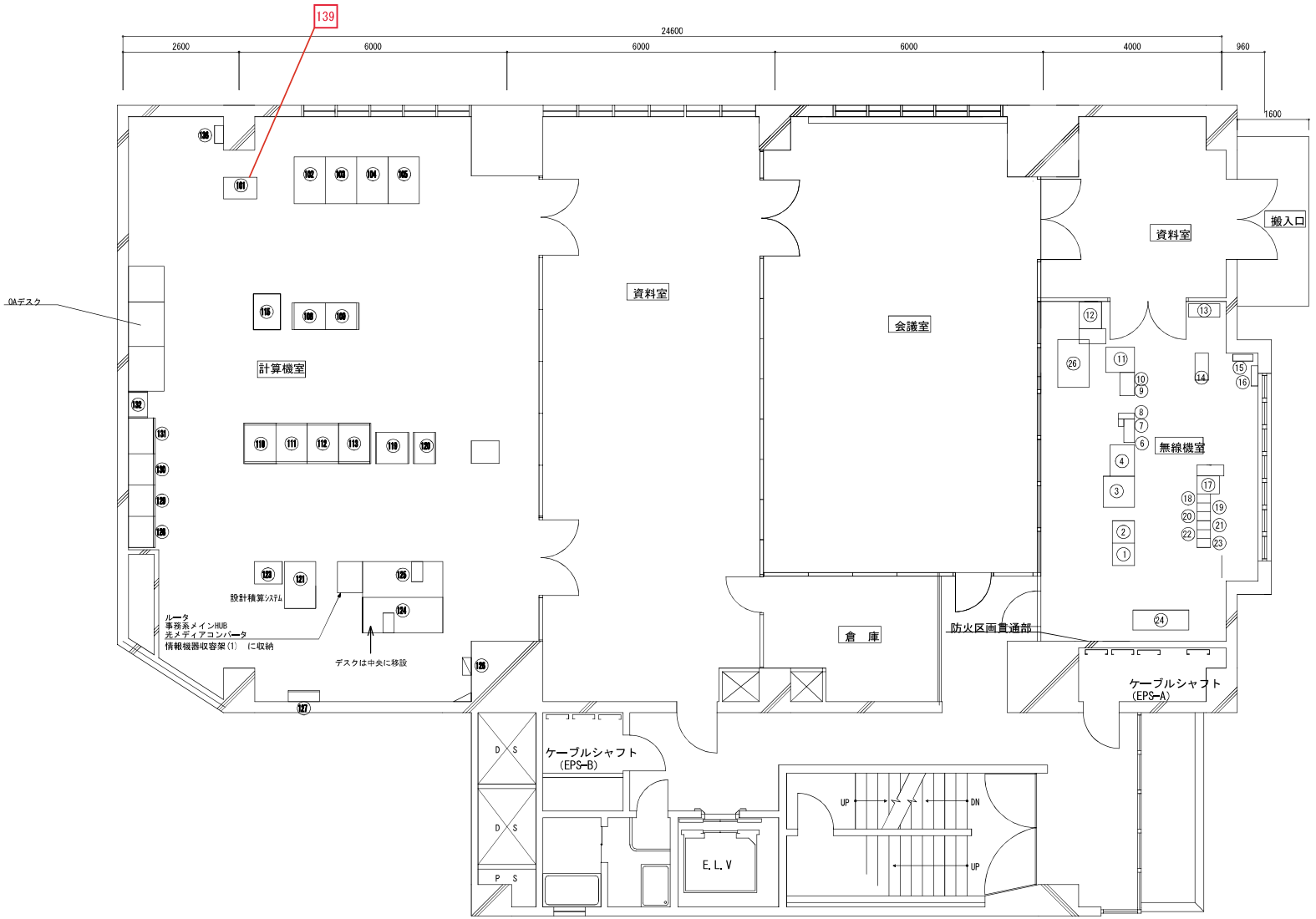


１階平面図（配管）　S=1/100

盤名称一覧表

番号		盤名称	備考	番号		盤名称	備考
①	——	66kVガス絶縁開閉装置		⑰			
②	——	No.1主変圧器		⑱	RA11	No.1アンティノイルタ盤	
③	——	No.2主変圧器		⑲	RA21	No.2アクティブフィルタ盤	
④	RM14	No.1 A/F変圧器		⑳	RK01	特高監視操作盤	
⑤	RM13	No.1 A/F用変圧器1次		㉑	RR01	特高保護継電器盤	
		No.1コンデンサ主幹		㉒	——	作業用電源盤	
⑥	RM12	No.1母線 GVT		㉓	RT01	東電中継端子盤	
		No.1連絡遮断器		㉔	——	東電取引計器盤	
⑦	RM11	No.1主変圧器二次VT, ZLA		㉕		特高PLC盤	
		No.1主変圧器二次					
⑧	RM21	No.2主変圧器二次VT, ZLA					
		No.2主変圧器二次					
⑨	RM22	No.2主変圧器母線 GVT					
		No.2連絡遮断器					
⑩	RM23	No.2 A/F用変圧器1次		1	G-01	発電機盤(1)	
		No.2コンデンサ主幹		2	G-02	発電機盤(2)	
⑪	RM24	No.2 A/F変圧器		3	G-DC	始動用直流電源盤	
⑫	RH13	3-1コンデンサ		4		換気装置[55dB(A)]ファン15kWx2	
⑬	RH12	3-2 〃		5		給気装置[55dB(A)]ファン15kWx2	
⑭		自家発用 RI/O盤		6		給油ボックス	
⑮	P-4	建築付帯設備分電盤		7		燃料小出槽(990L)	
⑯	L-4	照明設備分電盤		8		地下燃料タンク(20000L)	

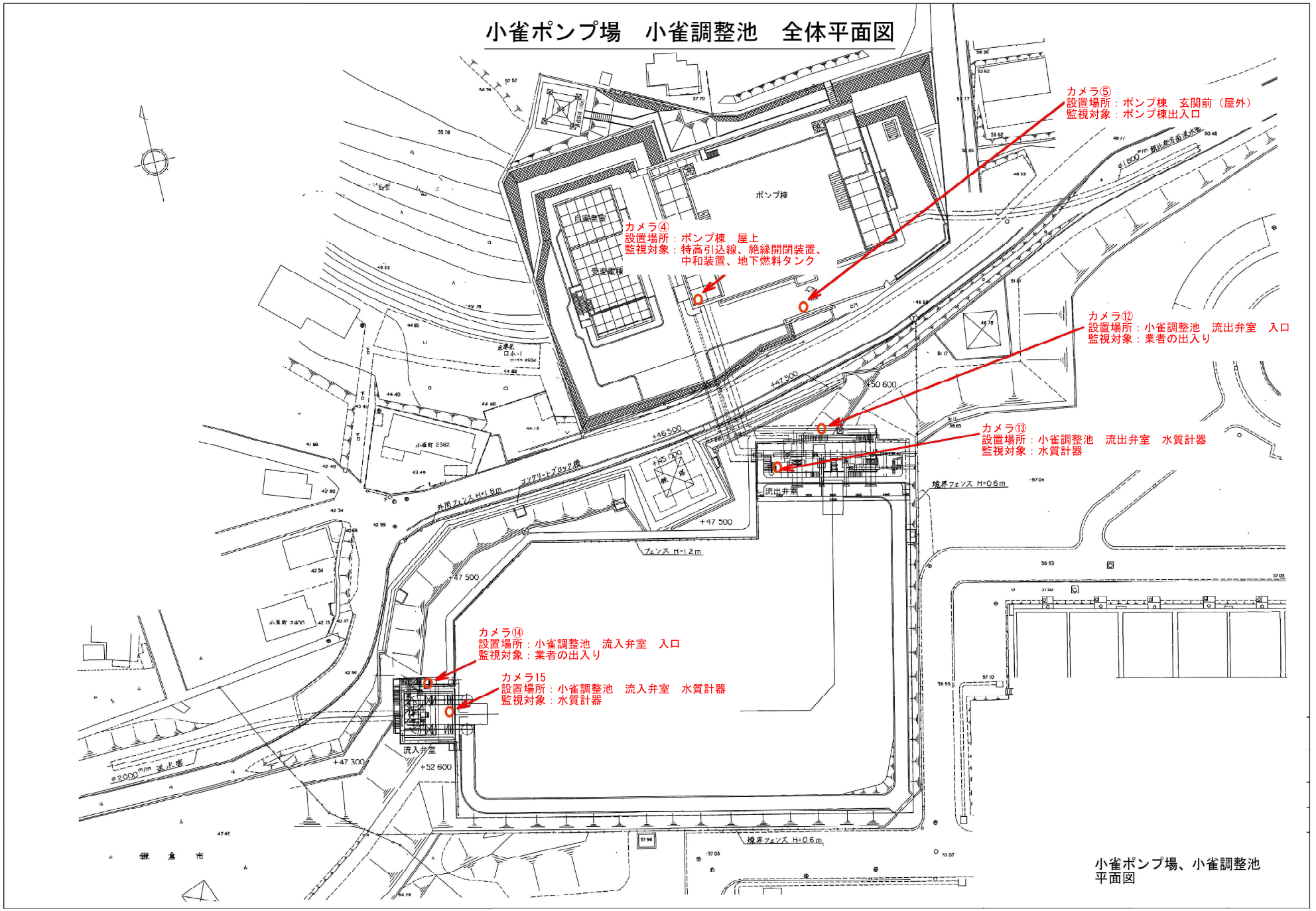
水運用センター　２階平面図



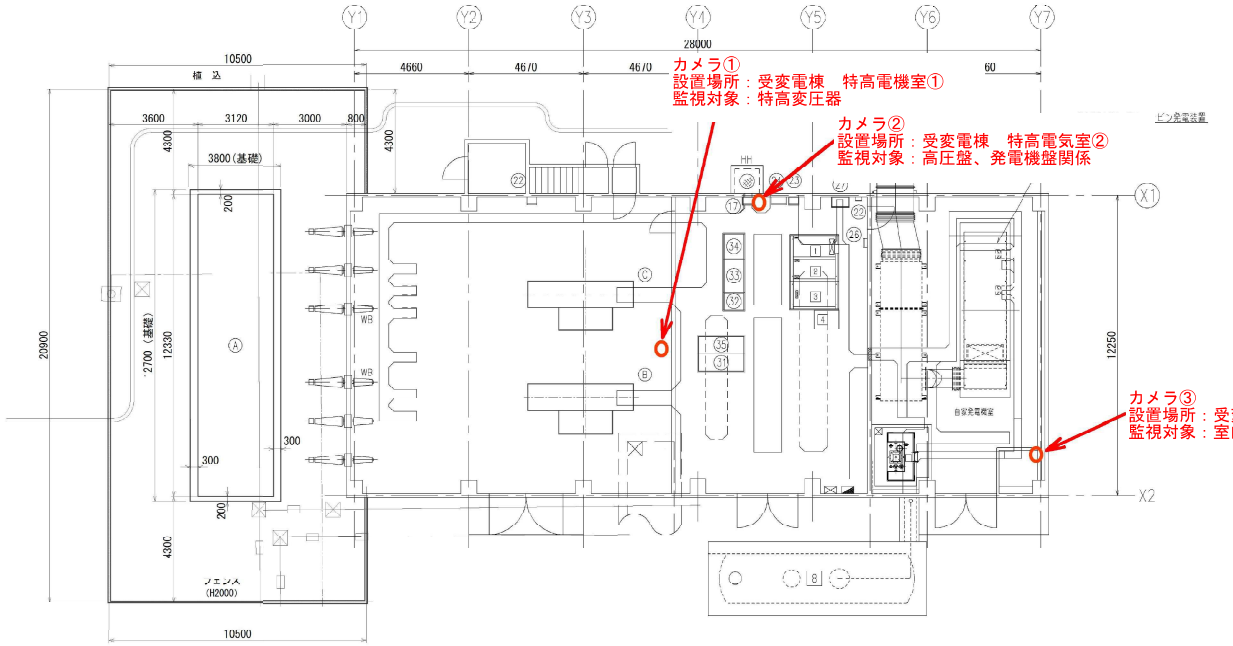
水運用センター2階平面図

No	盤記号	盤名称	設置工事名	
1		**第3~第14無線電話装置用ｶﾞｲﾄﾞ(7)時分割多重装置**		
2		**第3~第14無線電話装置用ｶﾞｲﾄﾞ(7)時分割多重装置**		
3		多重化装置監視端末		
4		遠方監視制御装置(操作端末)		
5				
6		**第1・第2無線電話装置（横浜令・生麦・下瀬・鳥井・鶴見）**		
7		**260MHzデジタル無線用フィルタ装置**		
8		制御局制御装置		
9				
10		直接系子局向装置		
11		企業団センター(基地局)		
12		音声きぎょうだん711		
13		無線用分電盤		
14		総合制御卓中間接続架		
15		簡易形空気乾燥装置		
16		**神奈川県防災行政通信網防災分電盤**		
17		遠方監視制御装置盤		
18		**第13・第14無線電話装置（旭山・鶴見・円海山・小雀）**		
19		第11・第12無線電話装置（綾瀬）		
20		第3・第4無線電話装置（西長沢）		
21		第5・第6無線電話装置(相模原)		
22		第7・第8無線電話装置（伊勢原）		
23		第9・第10無線電話装置（浅間山）		
24		空調機（無線機室用）		
25				
26		**収納ラック（ゲートウェイシステム）**		
101		港南台用シーケンサ盤		
102		DMZシステム		
103		水運用システム（A系）		
104		水運用システム（B系）		
105		構成団体システム		
106				
107				
108		補助継電器盤(R01)		
109		伝送装置盤(T01)		
110		矢指用分散制御装置		
111		ポンプ場GW分散制御装置		
112		遠方監視制御装置(1)		
113		遠方監視制御装置(2)		
114				
115		給水地点監視カメラ等システム		
116				
117				
118				
119		グラバネコントローラ盤		
120		**供給点システム　インターフェース装置**		
121		設計積算システム		
122				
123		ITV制御盤		
124		**ELIC(シミュレーションサーバ)、EMS**		
125		技術ファイルサーバ		
126		設計積算システム電源盤		
127		空調動力盤(M-2-1)		
128		2階分電盤(1)		
129		2階分電盤(2)		
130		2階分電盤(3)		
131		2階分電盤(4)		
132		計算機分電盤		
133				
134				
135				
136		IDF　50P		

ＣＣＴＶカメラ設置場所



ＣＣＴＶカメラ設置場所



受変電棟1階平面図
(S=1/100)

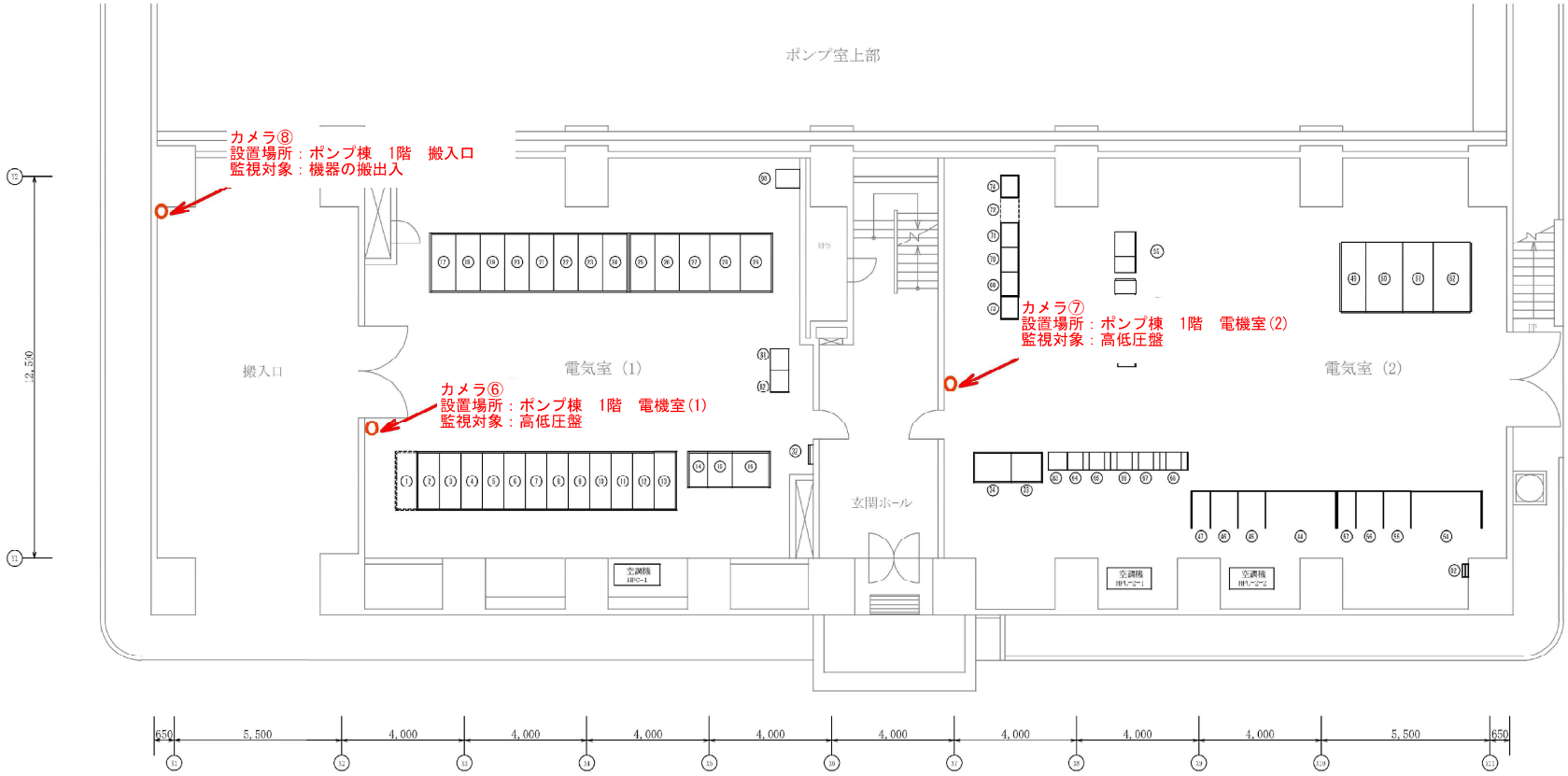
機器一覧表

番号	盤記号	盤名称	備考
1	G-01	発電機盤（1）	既設
2	G-02	発電機盤（2）	〃
3	G-DC	始動用直流電源盤	〃
4		発電機盤	今回
5			
6			
7			
8		地下燃料タンク（20000L）	既設
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			
⑯			
⑰		受変電棟　接地端子盤	今回
⑱			
⑲			
			既設
			盤　今回
			盤　既設
㉔			
㉕	——	自家発受給排気ファン操作盤	既設
㉖	#GP01	自家発R/O	今回
㉗			
㉘			
㉙			
㉚			
㉛	——	NO.2　主変圧器二次	今回
㉜	——	特高R/IC盤	〃
㉝	——	特高監視操作盤	〃
㉞	——	特高保護継電器盤	〃
㉟	——	NO.1　主変圧器二次	〃
㊱			
㊲			
㊳			
Ⓐ	——	絶縁監視装置	今回
Ⓑ	——	NO.1　主変圧器	〃
Ⓒ	——	NO.2　主変圧器	〃

W12330×D3120×H2850
W4250×D2190×H3370
W4250×D2190×H3370

受変電棟

ＣＣＴＶカメラ設置場所



機器一覧表

記号	盤番	盤名称	備考
(1)	MH 26	No.4送水ポンプ/予備	将来
(2)	〃 25	No.3　〃　/予備	
(3)	〃 24	No.2制御変圧器/コンデンサ主幹	
(4)	〃 23	No.2母線GVT/動力変圧器一次	
(5)	〃 22	No.2電源VT/6KV引込	
(6)	〃 21	No.2母線連絡/照明変圧器一次	
(7)	〃 01	発電機連絡/ ―――	
(8)	〃 11	No.1母線連絡/照明変圧器一次	
(9)	〃 12	No.1電源VT/6KV引込	
(10)	〃 13	No.1母線GVT/動力変圧器一次	
(11)	〃 14	No.1制御変圧器/コンデンサ主幹	
(12)	〃 15	No.1送水ポンプ/予備	
(13)	〃 16	No.2送水ポンプ/インバータ変圧器一次	
(14)	MM 03	200V分電	
(15)	〃 02	No.1照明分電	
(16)	〃 01	400V分電	
(17)	HC 11	1-1コンデンサ（250KVA）	
(18)	〃 12	1-2　〃　（500KVA）	
(19)	〃 13	1-3　〃　（　〃　）	
(20)	〃 14	1-4　〃　（　〃　）	

記号	盤番	盤名称	備考
(21)	〃 21	2-1　〃　（750KVA）	
(22)	〃 22	2-2　〃　（500KVA）	
(23)	〃 23	2-3　〃　（　〃　）	
(24)	〃 24	2-4　〃　（　〃　）	
(25)	HL 12	No.1照明変圧器	
(26)	〃 22	No.2　〃	
(27)	〃 11	No.1動力変圧器	
(28)	〃 01	低圧動力分岐	
(29)	〃 21	No.2動力変圧器	
(32)	――	接地端子盤	
(33)		蓄電池	
(34)		整流器	
(35)		制御用UPS	
(36)		吐出本管弁用UPS	
(37)		無停電電源分岐盤	

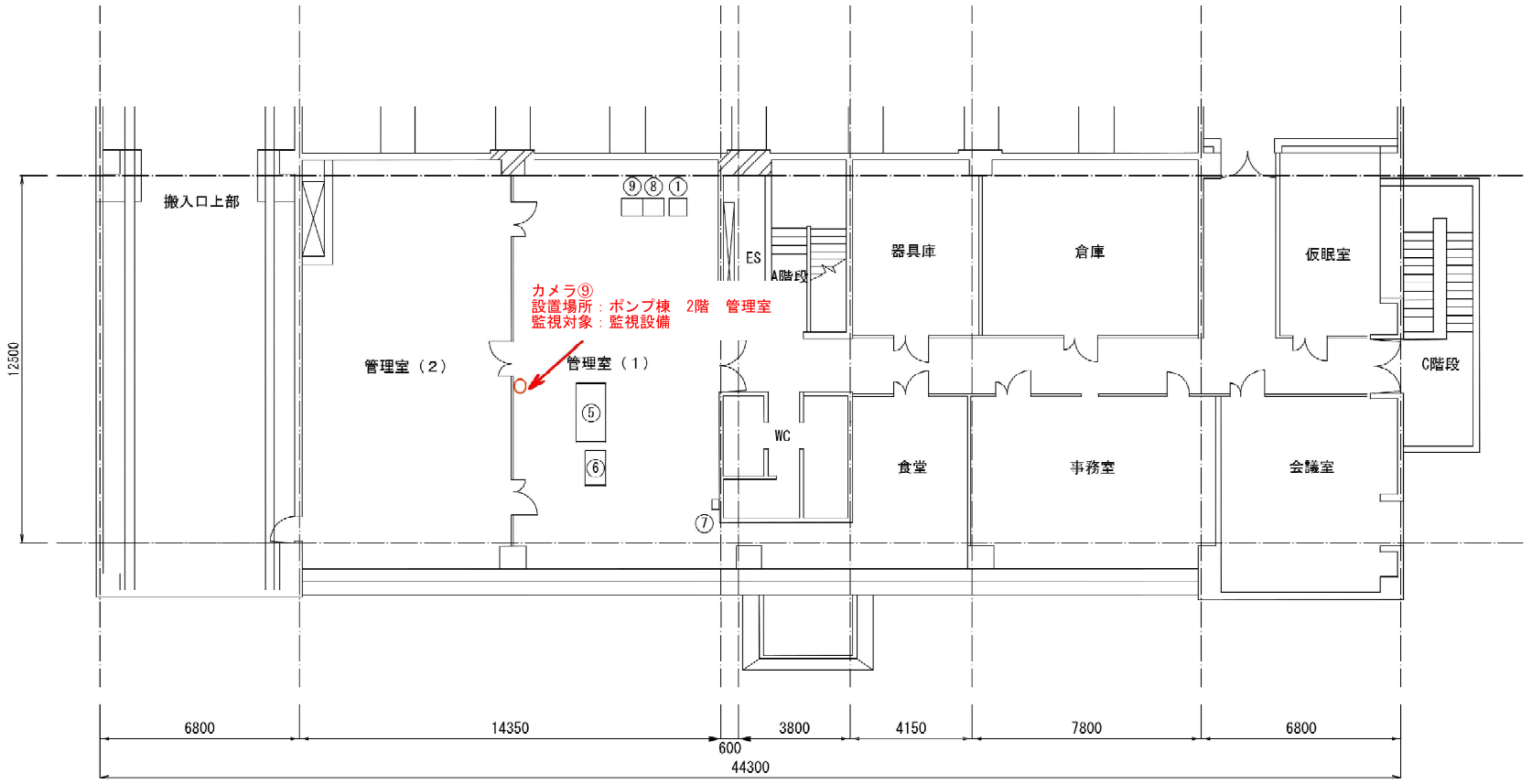
記号	盤番	盤名称	備考
(44)	BP-VF11	No.1送水ポンプ多重変圧器盤	
(45)	〃 12	No.1送水ポンプインバータ盤1	
(46)	〃 13	No.1送水ポンプインバータ盤2	
(47)	〃 14	No.1送水ポンプ制御盤	
(49)	HL 21	No.2送水ポンプ二次接触器	
(50)	〃 22	〃　〃　SR.HSUB	
(51)	〃 23	〃　〃　THY	
(52)	〃 24	〃　〃　インバータ変圧器	
(54)	BP-VF31	No.3送水ポンプ多重変圧器盤	
(55)	〃 32	No.3送水ポンプインバータ盤1	
(56)	〃 33	No.3送水ポンプインバータ盤2	
(57)	〃 34	No.3送水ポンプ制御盤	

記号	盤番	盤名称	備考
(64)	MC 05	コントロールセンタ	
(65)	〃 04	〃	
(66)	〃 03	〃	
(67)	〃 02	〃	
(68)	〃 01	〃	
(69)	MP 11	No.1送水ポンプPLC盤	
(70)	MP 21	No.2送水ポンプPLC盤	
(71)	MP 31	No.3送水ポンプPLC盤	
(72)	MP 41	No.4送水ポンプPLC盤	将来
(73)	MR 01	共通補助継電器盤	
(74)	ME 01	計装盤	

記号	盤番	盤名称	備考
(81)	MF 11	No.1電力変換器	
(82)	〃 21	No.2　〃	
(83)	ML 01	制御用分電盤	
(90)	HE 11	CCTV収納盤	
(92)		接地端子箱	

ポンプ棟　1階

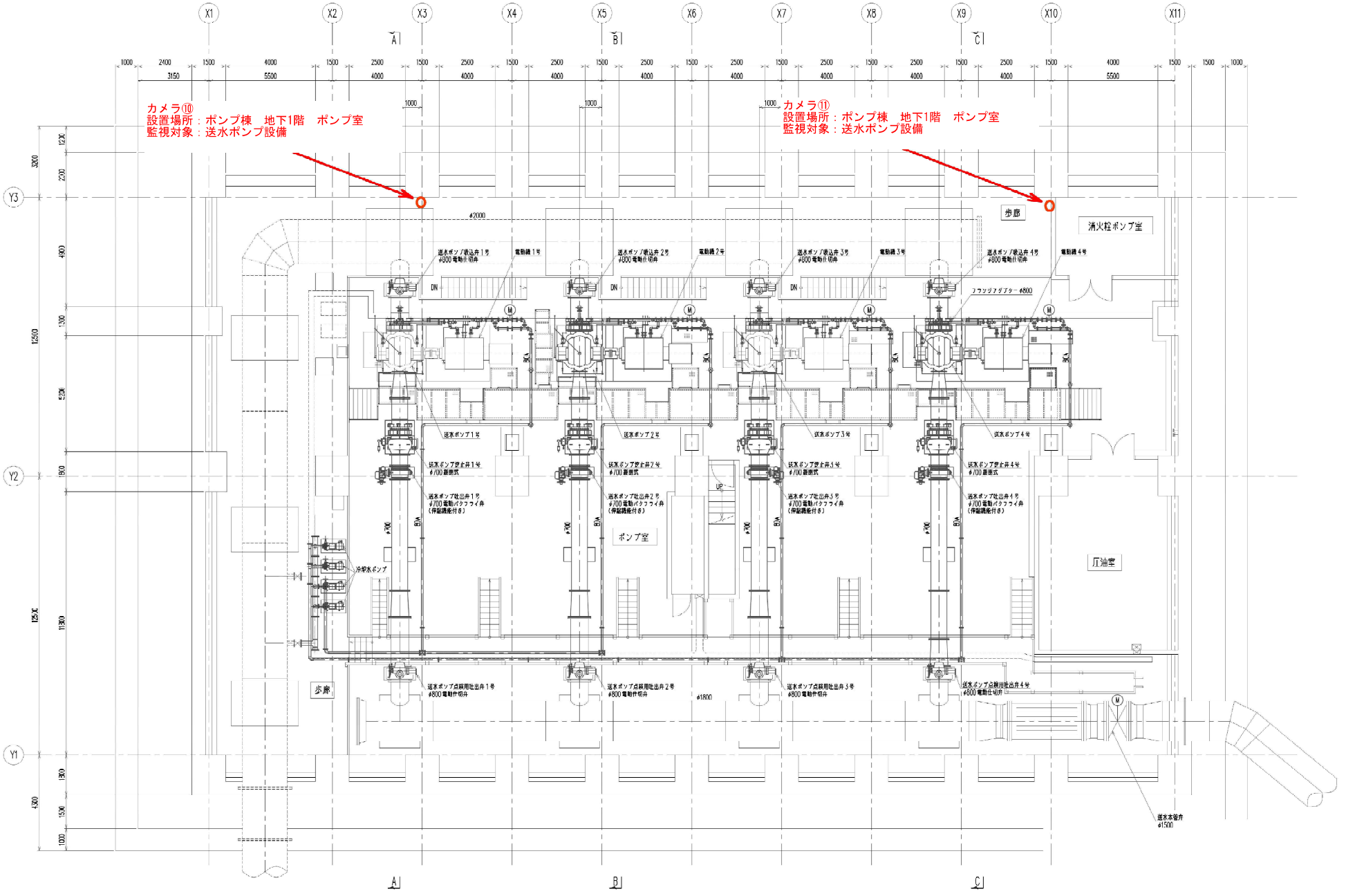
ＣＣＴＶカメラ設置場所



No.	機器名称	備　考
①	収容架	
②		
③		
④		
⑤	監視操作卓	
⑥	監視カメラ操作卓	
⑦	電話交換機	
⑧	伝送用PLC盤2	
⑨	伝送用PLC盤1（※上位計算機接続先）	
⑩		

ポンプ棟　2階

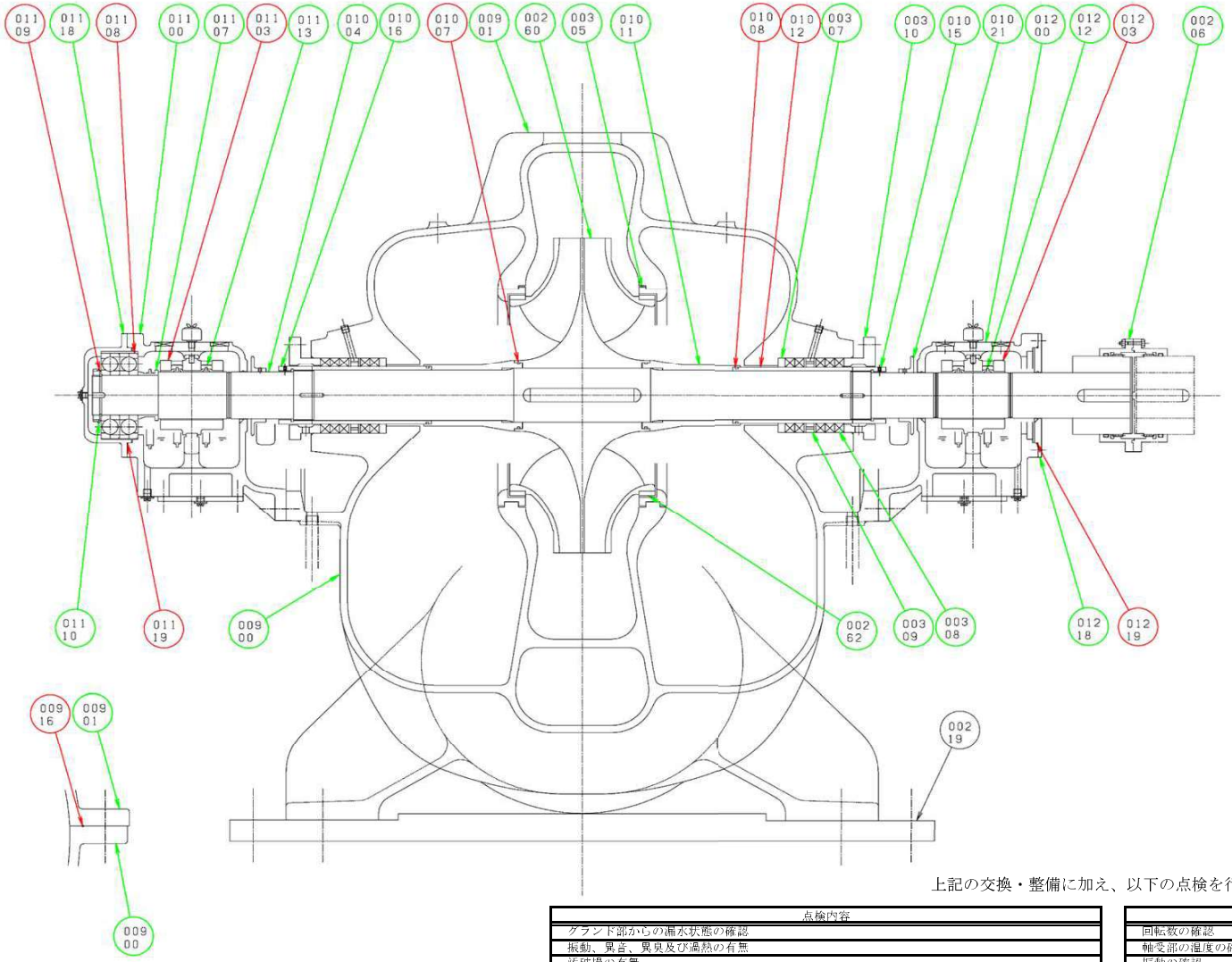
ＣＣＴＶカメラ設置場所



平面図 S=1/80
（更新）

ポンプ棟　地下1階ポンプ室

送水ポンプ1号,3号　オーバーホール範囲図



部　品　一　覧

番　号	部　品　名	数量／1台分	材　質	備　考
00900	下部ケーシング	1	FC250	
00901	上部ケーシング	1	FC250	
00916	ガスケット	1式	ニトリルゴム	φ5
00260	羽根車	1	SCS1	
00262	羽根車リング	2	SCS13	
00305	ライナリング	2	SCS24	
00307	カラー	2	SUS304	
00308	グランドパッキン	1式	炭化繊維	20角
00309	封水リング	2	BC6	
00310	パッキン押エ	2	BC6	
01004	主軸	1	S35C	
01007	Oリング	2	ニトリルゴム	G165
01008	Oリング	2	ニトリルゴム	G140
01011	スリーブ	2	SCS2	
01012	パッキン部スリーブ	2	SCS2	
01015	スリーブナット	1	SCS2	
01016	スリーブナット	1	SCS2	
01021	デフレクター	2	BC6	
01100	軸受箱	1	FC250	
01103	軸受メタル	1	FC250+WJ2	
01107	カラー	1	S22C	
01108	玉軸受	1		No.7322L1DFC3
01109	軸受ザガネ	1	SPCC	AW22
01110	軸受ナット	1	SS41	AN22
01113	オイルリング	3	BC6	
01118	軸受カバー	1	FC200	
01119	丸ゴムパッキン	1	タイユゴム	φ3
01200	軸受箱	1	FC250	
01203	軸受メタル	1	FC250+WJ2	
01212	オイルリング	2	BC6	
01218	軸受カバー	1	SS41	
01219	丸ゴムパッキン	1	タイユゴム	φ3
00206	軸継手	1式		ギヤカップリング
00219	ソールプレート	2	SS41	

交換

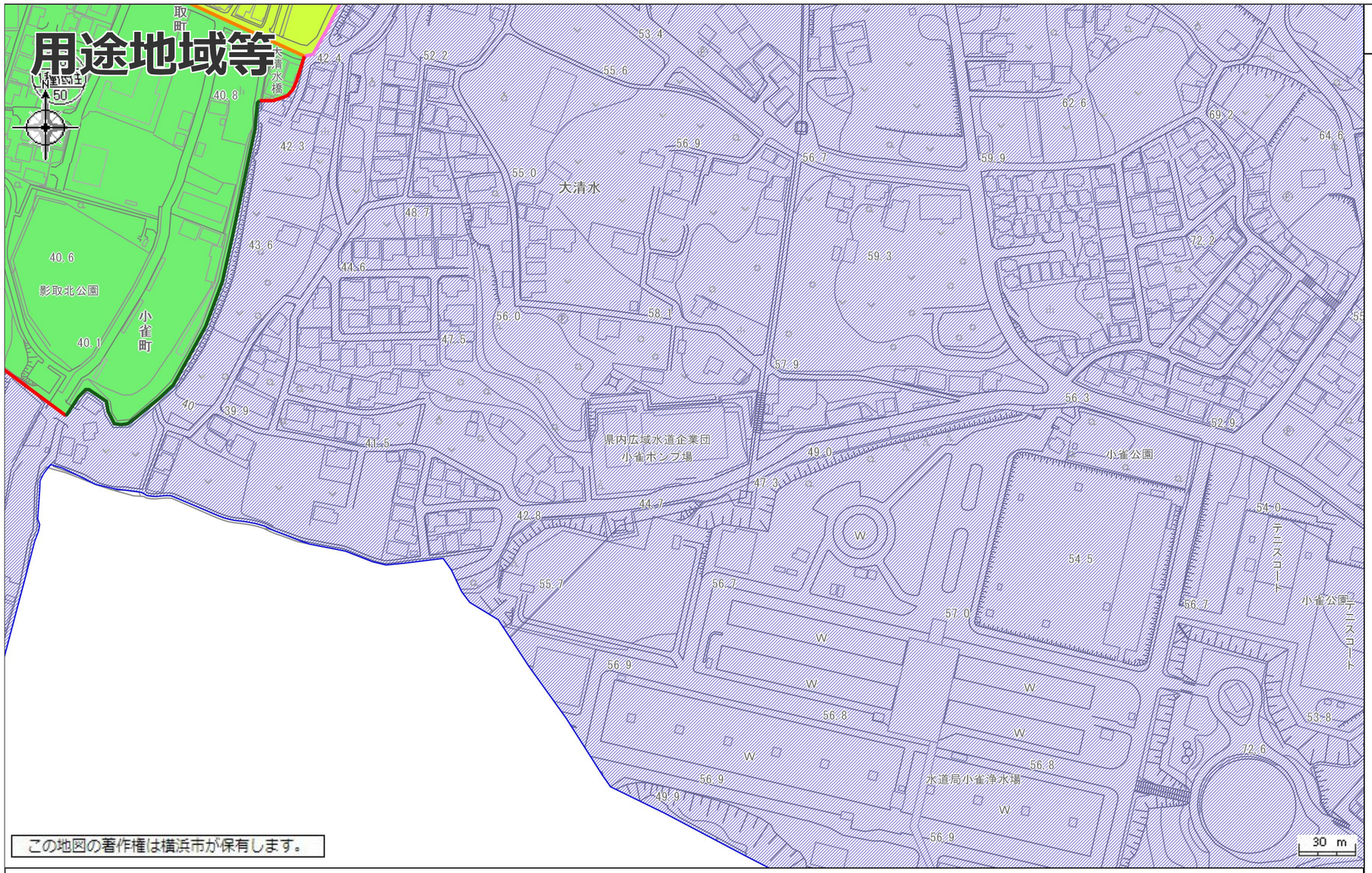
交換または整備
（内外面の塗装（内面はJWWA K157による）を含む）

上記の交換・整備に加え、以下の点検を行うこと

点検内容
グランド部かもの漏水状態の確認
振動、異音、異臭及び過熱の有無
汚破損の有無
潤滑油の油量の確認
漏油の有無
圧力スイッチの設定値の確認（軸封水・吐出圧用）
各部の清掃
ボルト、ナット等の緩み及び脱落の有無
電動機との接続ずれの有無
軸受部の振動、異音、異臭、及び過熱の有無
軸受部の汚破損の有無
軸受部の潤滑油（グリス）の変色及び漏油の有無
（状態に応じ補充又は交換）
キャビテーションによる壊食の有無
ケーシング外面塗装の劣化の有無
各部の分解点検
圧力（吸込及び吐出）の確認
運転時間の確認

点検内容	
回転数の確認	
軸受部の温度の確認	
振動の確認	
スラストの隙間	
ライナリングの隙間	
軸受部の隙間	
染色探傷検査	
分解前及び組立後の試験運転データ測定	圧力（吸込及び吐出）の確認
	回転数の確認
	振動の確認
	騒音の確認
	芯出しの確認
	温度（軸受）の確認
	流量（吐出）の確認
	電流の確認
	電圧の確認

【別紙２】小雀ポンプ場周辺用途地域



この地図の著作権は横浜市が保有します。

旗の位置に関するものは次の通りです。
お調べの土地が境界付近の場合は、担当課にご確認ください。

（ 凡 例 ）

- 第１種低層住居専用地域
- 第２種低層住居専用地域
- 第１種中高層住居専用地域
- 第２種中高層住居専用地域
- 第１種住居地域
- 第２種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域（第７種高度地区）
- 商業地域（第６種高度地区）
- 商業地域（最低限１種高度地区）
- 商業地域（最低限２種高度地区）
- 準工業地域（第５種高度地区）
- 準工業地域（第７種高度地区）
- 工業地域（第５種高度地区）
- 工業地域（第７種高度地区）
- 工業専用地域
- 最低限３種高度地区
- 市街化調整区域
- 用途界
- 道路界
- 地番界（区域区分のみ）
- 地形地物界等（区域区分のみ）
- 都市計画道路
- 都市計画河川

※区域区分界については線種ごとに色分け

容積率
用途地域
建蔽率

左の図は都市計画の法定図面ではありませんので、公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用ください。

注）地区計画、市街化調整区域等や前面道路状況等により上記の建築制限内容が変わる場合がありますので、詳細については各担当課にご確認ください。

横浜市建築局
2026/9/28 9:47:43

【別紙３】対象設備一覧

No.	名称			数量	竣工年度	設置場所		既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考
1	送水ポンプ	電動機	1、3号	2台	2017	ポンプ棟	ポンプ室	日立製作所				○	○	○	・更新又は流用 ただし、流用の場合はオーバーホールを行うこと
2			2号	1台	2000		ポンプ室	日立製作所				○		○	
3			4号	1台	―		ポンプ室	―		○				○	
4		ポンプ	1、3号	2台	1992		ポンプ室	日立製作所				○	○	○	・更新又は流用 ただし、流用の場合はオーバーホールを行うこと
5			2号	1台	2000		ポンプ室	日立製作所				○		○	
6			4号	1台	―		ポンプ室	―		○				○	
7		速度制御装置	1、3号	2台	2017		電気室(2)	日立製作所				○		○	・VVVF方式で更新
8			2号	1台	2000		電気室(2)	日立製作所				○		○	・VVVF方式で更新
9			4号	1台	―		電気室(2)	―		○				○	・VVVF方式で新設
10	主ポンプ吐出弁		1、3号	2台	1992		ポンプ室	―				○		○	バタフライ弁＋逆止弁で更新
11			2号	1台	2000		ポンプ室	―				○		○	バタフライ弁＋逆止弁で更新
12			4号	1台	―		ポンプ室	―		○				○	バタフライ弁＋逆止弁で新設
13	送水ポンプ吸込側仕切弁		1～4号	4台	1987		ポンプ室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
14	送水ポンプ吐出側仕切弁		1～4号	4台	1987		ポンプ室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
15	冷却水ポンプ		1、2号	2台	2016		ポンプ室	―				○		○	
16	送水本管弁			1台	1988		ポンプ室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
17	圧油設備 （ロート弁駆動用）	貯油槽、圧油ポンプ 圧油槽、空気圧縮機、 エアドライヤ		1式	1992		圧油室	―	○						・吐出弁の弁方式変更に伴い撤去
18	調整池流入仕切弁		1～2号	2台	1985	調整池	流入弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
19	調整池流入バタ弁		1～2号	2台	1985		流入弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
20	調整池供給仕切弁		1～2号	2台	1985		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
21	供給スルース弁			1台	1985		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
22	供給バタ弁			1台	1985		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
23	調整池供給バイパス弁			1台	1985		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
24	調整池流出バタ弁		1～2号	2台	1985		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
25	調整池バイパス弁		2号	1台	1985		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
26	調整池バイパス弁		1号	1台	1985		流入弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
27	融通スルース弁			1台	1986		流出弁室	―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
28	水没式バタ弁		1～2号	2台	1987	調整池		―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
29	融通バタ弁			1台	1988	調整池		―				△		○	・バルブコントローラのみ更新
30	搬入用天井クレーン			1台	1991	ポンプ棟搬入室		―					○		
31	天井クレーン			1台	1991	ポンプ棟ポンプ室		―					○		
32	特高受変電設備	ガス絶縁開閉装置		1式	2000	受変電棟受変電室		日立製作所				○		○	・環境配慮型設備で更新
33		主変圧器		2台	2000	受変電棟受変電室		日立製作所				○		○	・環境配慮型設備で更新

No.	名称		数量	竣工年度	設 置 場 所	既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考
34	高低圧電気設備	高圧配電盤	6面	2000	受変電棟電気室	－				○		○	
35		アクティブフィルタ盤	2面	2000	受変電棟電気室	－	○						・撤去
36		アクティブフィルタ変圧器盤	2面	2000	受変電棟電気室	－	○						・撤去
37		進相コンデンサ盤	2面	2000	受変電棟電気室	－				○		○	・ポンプ棟電気室と統合
38		特高電気盤	2面	2000	受変電棟電気室	－				○		○	
39		建築付帯設備分電盤	1面	2000	受変電棟電気室	－				○		○	
40		照明設備分電盤	1面	2000	受変電棟電気室	－				○		○	
41		受変電棟接地端子盤	1面	1988	受変電棟電気室	－				○		○	
42		東電取引計器盤	1面	1999	受変電棟電気室	－					必須		
43		東電中継端子盤	1面	2000	受変電棟電気室	－					必須		
44		作業電源盤	1面	1999	受変電棟電気室	－				○		○	
45		高圧配電盤	12面	1992	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	
46		進相コンデンサ盤	8面	1992	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	・受変電棟電気室と統合
47		照明変圧器盤	2面	1992	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	
48		動力変圧器盤	3面	1992	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	
49		低圧分電盤 （400V分電、200V分電、No1照明分電）	3面	1992	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	・維持管理性を考慮した２系統分割構成とする
50		低圧動力分岐盤	1面	1987	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	
51		電力変換器盤	2面	1991	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	
52		接地端子盤	1面	1992	ポンプ棟電気室(1)	－				○		○	・接地幹線および接地極も更新
53		コントロールセンター	5面	1999	ポンプ棟電気室(2)	－				○		○	
54		直流電源装置	1組	2012	ポンプ棟電気室(2)	GSユアサ				○		○	
55		吐出本管弁用無停電電源装置	1組	2025	ポンプ棟電気室(2)	山洋電気	○						・逆止弁新設により逆流対策となるため撤去
56		制御用無停電電源装置	1組	2025	ポンプ棟電気室(2)	山洋電気				○		○	
57		無停電電源分岐盤	1面	2012	ポンプ棟電気室(2)	－				○		○	
58		制御用分電盤	1面	1991	ポンプ棟電気室(2)	－				○		○	
59	非常用発電設備	地下燃料タンク	1基	2013	受変電棟 屋外	－			○			○	・既設20,000Lに対して、40,000Lの燃料タンクを増設して、合計60,000Lのタンクとする ・燃料タンクの検査（気密試験）は既設含め事業者が行う
60		非常用発電設備電気盤	1組	2013	受変電棟発電機室	－					○		・タンク増設に伴う改造 ・必要な改造を既設メーカーへ別途発注する
61		燃料移送ポンプ	2台	2013	受変電棟発電機室	－					○		・タンク増設に伴う改造 ・必要な改造を既設メーカーへ別途発注する
62		燃料小出槽	1台	2013	受変電棟発電機室	－					○		・タンク増設に伴う改造 ・必要な改造を既設メーカーへ別途発注する
63		非常用発電設備本体	1式	2013	受変電棟発電機室	メタウォーター					○		
64		自家発室給気ファン操作盤	1面	2013	受変電棟電気室	－					○		
65	監視制御設備	中央処理装置	1台	2012	ポンプ棟管理室	日立製作所				○		○	・管理室からポンプ場・調整池の主要機器を操作可能とする ・水運用センターにおいても小雀ポンプ場管理室と同等の監視操作ができること
66		[PLC盤] 伝送用PLC-A,B 特高PLC No.1～3送水ポンプPLC	5面	2012	ポンプ棟管理室 受変電棟電気室 ポンプ棟電気室(2)	日立製作所				○		○	・PLCは最適な冗長化を図る ・通信プロトコルは汎用規格で構築

No.	名称		数量	竣工年度	設 置 場 所	既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考
67		リモート入出力装置	21台	2012	ポンプ場	ー				○		○	・更新、受変電系はポンプ棟電気室に集約 ・油圧設備関連の現場盤・電源分岐盤は撤去
68		プリンタ	1台	2012	ポンプ棟管理室	ー	○						
69		冷却水ポンプ盤	1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
70		吐出本管弁盤	1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
71		ロート弁圧油ポンプ空気 圧縮機現場盤	1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	ー	○						
72		エアドライヤー電源分岐盤	1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	ー	○						
73		計装盤	1面	2012	ポンプ棟電気室(2)	ー				○		○	
74		共通補助継電器盤	1面	2012	ポンプ棟電気室(2)	ー				○		○	
75		CCTV	1式			ー				○		○	・設備監視用、扉監視用を兼ねたカメラシステムとする ・水運用センターでも監視可能とする
76	計装設備	送水流量計	1台	1985	ポンプ棟ポンプ室	ー				△		○	・変換器は更新、検出器は流用可能
77		調整池流入流量計	1台	1985	調整池	ー	○						
78		供給流量計	1台	1985	調整池	ー				△		○	・変換器は更新、検出器は流用可能
79		融通流量計	1台	1985	調整池	ー				△		○	・変換器は更新、検出器は流用可能
80		No.1/No.2 小雀調整池水位計	2台	2012	調整池	ー				○		○	
81		送水圧力計	1台	2012	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
82		送水ポンプ入口圧力計	1台	2012	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
83		供給残留塩素計	1台	2011	調整池	横河電機					必須		
84		小雀調整池入口濁度計	1台	2013	調整池	横河電機					必須		
85		小雀調整池出口濁度計	1台	2013	調整池	横河電機					必須		
86	無線設備	無線設備収容架（ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ時分割多重装置）	1面		ポンプ棟管理室	ー					必須		
87		無線設備収容架	1面	2016	無線局舎	ー					必須		
88		センター向け 第1・第2装置	1面	2016	無線局舎	ー					必須		
89		交流分電盤(商用)	1面	2016	無線局舎	ー					必須		
90		引込分電盤	1面	2016	無線局舎	ー					必須		
91		デハイトレータ	1面	2016	無線局舎	ー					必須		
92		衛星携帯電話設備	1面		ポンプ棟管理室	ー					必須		
93	消防設備	ハロン消火制御盤			ポンプ棟管理室	ー				○		○	
94		消火ポンプ制御盤		1987	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
95		消火栓ポンプ盤		1987	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
96		小雀消防設備開閉器盤		1987	ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
97		消火栓ポンプ室排気ファン			ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
98		ハロン消火設備端子盤		1987	受変電棟	ー				○		○	
99		消火補給水槽		1987	ポンプ棟	ー				○		○	
100		ハロン消火設備	ハロゲン化物消火剤貯蔵容器、起動用ガス容器、起動装置、表示灯、噴射ヘッド、自動閉鎖装置		受変電棟	ー				○		○	

No.	名称		数量	竣工年度	設置場所	既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考
101		消火設備	消火器、消火栓設備、火災報知器、誘導灯、排煙設備、非常用コンセント設備、非常電源、防排煙制御設備			ポンプ場	ー				○		○	
102	給排水衛生・ガス設備	中和設備		1面	2014	ポンプ棟	ー					必須		
103		排水ポンプ	1～2号	2台		ポンプ棟ポンプ室	ー				○		○	
104		流入弁室排水ポンプ		1台		調整池 流入弁室	ー				○		○	
105		流出弁室排水ポンプ		1台		流出弁室	ー				○		○	
106		排気ファン	ポンプ室	1台		ポンプ棟空調機械室	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
107			電気室	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
108			空調機室	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
109			管廊	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
110			圧油室	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
111			B1F倉庫	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
112			特高	1台		受変電棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
113			自家発室	1台		受変電棟	ー					○		・自家発の補器扱いとして更新対象外とする
114			調整池管廊	1台		調整池連絡通路	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
115		給気ファン	空調機械室	1台		ポンプ棟空調機械室	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
116			ポンプ室	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
117			電気室	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
118			管廊	1台		ポンプ棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
119			特高	1台		受変電棟	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
120			自家発室	1台		受変電棟	ー					○		・自家発の補器扱いとして更新対象外とする
121			調整池管廊	1台		調整池連絡通路	ー				○		○	・ダクト自体は流用可能
122		排煙ファン盤		1面		ポンプ棟空調機械室	ー				○		○	
123		排煙機		2台		ポンプ棟空調機械室	ー				○		○	
124	空調設備	パッケージエアコン	管理室	1台	2009	ポンプ棟空調機械室	ー				○		○	
125				1台	1987	ポンプ棟空調機械室	ー				○		○	
126			電気室１	1台	2009	ポンプ棟電気室(1)	ー				○		○	・容量見直し
127			電気室２	2台	2009	ポンプ棟電気室(2)	ー				○		○	・容量見直し
128			電気室３	3台	2015	受変電棟電気室	ー				○		○	・容量見直し
129			事務室	1台	2015	ポンプ棟	ー				○		○	
130			食堂	1台	2015	ポンプ棟	ー				○		○	
131	照明設備	屋内設備		1式	1987	ポンプ棟、受変電棟、弁室	ー				○		○	・LEDへ更新 ・一部水銀灯が含まれる
132		外灯設備		1式	2024		ー					○		
133	電話設備	交換機		1台	2018	ポンプ場	ー				○		○	
134		多機能電話機		1台	2018	ポンプ場	ー				○		○	
135		一般電話機		6台	2018	ポンプ場	ー				○		○	
136		FAX		1台	2018	ポンプ場	ー				○		○	
137		コードレス用アンテナ		10台	2018	ポンプ場	ー				○		○	
138		コードレス電話機		3台	2018	ポンプ場	ー				○		○	

No.	名称		数量	竣工年度	設 置 場 所	既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考
139	水運用センター 監視制御設備	インターフェイス伝送用PLC 小雀ポンプ場インターフェイス用PLC	2面		水運用センター2階	―				○		○	・上位のポンプGW分散制御PLCの伝送規約に従い伝送すること ・有線無線切替機能を持たせること ・水運用センター監視制御設備に必要となる改造は既設メーカーへ企業団が別途発注する

※更新のうち「△」は設備の一部更新を示すものである。

※事業者の判断で「流用」としている設備を「更新」にしてもよい。ただし、「必須」とあるものは「流用」とすること。

【別紙４】リスク分担表

【負担者】●：主負担、▲：従負担

段階	リスクの種類		No.	リスクの内容	負担者※1	
					企業団	事業者
共通	入札・契約	入札手続き	1	入札説明書、要求水準書等の記載内容の変更、誤記及び提示漏れによるもの	●	
		契約手続き	2	事業者の帰責事由による契約締結の遅延、中止		●
			3	企業団の帰責事由による契約締結の遅延、中止	●	
		終了手続き	4	契約終了手続きに伴う、諸費用の発生及び共同企業体の清算手続きに関するもの		●
	制度関連	政治	5	事業予算、債務負担行為、契約締結などの議決に関するもの	●	
			6	政策変更による事業の変更・中止に関するもの	●	
		法制度	7	本事業に直接の影響を及ぼす法制度・許認可の新設・変更によるもの	●	
			8	本事業に直接の影響を及ぼさない法制度・許認可の新設・変更によるもの		●
		許認可	9	企業団が手続きすべき許認可・届出の遅延によるもの	●	
			10	事業者が手続きするべき許認可・届出の審査等の遅延であって、事業者の事由によらないもの	●	
			11	事業者が手続きするべき許認可・届出の審査等の遅延であって、事業者の事由によるもの		●
		行政指導	12	事業者の帰責事由による行政指導に伴う事業の変更・遅延に関するもの		●
			13	企業団が対応すべき行政指導に伴う事業の変更・遅延に関するもの	●	
		税制変更	14	消費税などの本事業に直接の影響を及ぼす税制度の新設・変更によるもの	●	
			15	法人事業税、法人住民税などの事業者の利益に関する税制度の新設・変更によるもの		●
	社会	第三者賠償	16	事業者の帰責事由による第三者賠償等に関するもの		●
			17	企業団の帰責事由による第三者賠償等に関するもの	●	
		住民対応	18	本事業の実施そのものに関する地元合意形成等に関するもの	●	
			19	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)に関する地元合意形成等であって、事業者の帰責事由によらないもの(企業団の指示により実施したもの等)	●	
			20	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)に関する地元合意形成等であって、事業者の帰責事由によるもの		●
		環境問題	21	事業者の提案内容、業務に起因する環境問題に関するもの		●
			22	企業団が指示する環境問題に関するもの	●	
	業務	事業者の発注する業務	23	事業者が発注する契約の管理・内容変更等に関するもの		●
		想定外業務	24	第三者の加害行為(破壊、盗難、強盗、汚損、毒物混入、放火等)により、事業変更・施設運転停止・事業継続が困難となる場合	●	▲※2
	安全	事故災害	25	事業者の帰責事由による事故災害に関するもの		●
			26	企業団の帰責事由による事故災害に関するもの	●	
		安全確保	27	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)における安全性の確保		●
			28	企業団が行う業務(企業団が別途発注する業務を含む)による安全性の確保	●	
	労務	教育・研修	29	関連経費及び予備要員の配置又は応援要員の確保		●
		ハラスメント行為	30	事業者の対応不備による賠償請求、企業イメージの低下		●
		不正犯罪	31	事業者の従業員の不誠実行為等による業務停止、契約解除		●
		情報漏洩	32	事業者の帰責事由による情報の漏洩		●
			33	企業団の帰責事由による情報の漏洩	●	
	資金	物価変動	34	本事業に係るインフレ・デフレ(物価変動)に関する費用の増減	●	▲※3
		保険の付保	35	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)の各段階のリスクをカバーする保険に関するもの		●

※1 リスク分担にない事象については企業団と事業者間で協議のうえ対応方法を決定する
　リスク分担が定められた事業についても、その発生事象や発生事由に応じてリスク分担について協議を行うものとする
※2 事業者の善管注意義務違反や業務不履行等によるもの
※3 一定の割合を超える費用負担は企業団、それ以外は事業者が負担とし、その割合は工事請負契約書(案)
　及び維持管理業務委託契約書(案)において定める

段階	リスクの種類		No.	リスクの内容	負担者※6	
					企業団	事業者
共通	変更・中断	計画変更	36	企業団の帰責事由による事業内容・用途の変更に関するもの	●	
			37	水質の急変、他施設での事故等により施設の送水能力を超過する必要がある場合	●	
		事業の中断	38	事業者の帰責事由による事業の中断に関するもの		●
			39	企業団の帰責事由による事業の中断に関するもの	●	
		契約不履行	40	事業者の帰責事由による契約不履行に関するもの		●
			41	企業団の帰責事由による契約不履行に関するもの	●	
		技術進歩・創意工夫	42	事業期間中の技術進歩や創意工夫に伴い、事業の内容に変更が必要となる場合	▲※4	▲※4
		不可抗力	43	本事業に係る戦争、暴動、天災(風水害、地震、噴火等)、パンデミック他、通常の予見可能な範囲外のものであって、企業団及び事業者の双方の責めに帰すことのできない事由等	●	▲※5
調査・設計	調査		44	企業団が実施した測量・調査に関するもの	●	
			45	環境汚染物質(アスベスト・PCB 等)の対策に関するもの	●	●※7
			46	埋蔵文化財の存在に関するもの	●	●※7
			47	事業者が実施した測量・調査に関するもの		●
	設計		48	企業団の帰責事由(提示条件の大幅な変更等)による設計の完了遅延・設計費の増加	●	
			49	事業者の帰責事由(提案の不備、設計の不備、事業者の事由による履行遅れ等)		●
工事	用地		50	事業用地の確保に関するもの	●	
			51	事業用地以外の建設に要する用地の追加的確保		●
			52	土壌汚染、地中障害物(残置廃棄物、不発弾等)、既存資料(地下埋設物、撤去対象施設等)及び現地で把握あるいは予見が不可能な地下埋設物に関するもの	●	
			53	既存資料及び現地で把握あるいは予見が可能な地下埋設物及び撤去対象施設に関するもの		●
	工事遅延		54	事業者の帰責事由による工事の遅延		●
			55	企業団の帰責事由による工事の遅延	●	
	工事費増加		56	事業者の帰責事由による工事費の増加		●
			57	企業団の帰責事由による工事費の増加	●※8	
	工事監督・工事監理・施工管理		58	企業団が実施する工事監督に起因するもの	●	
			59	事業者が実施する施工管理に起因するもの		●
	施設性能(新設設備)		60	新設設備の要求性能不適合、施工不良に関するもの		●
	引渡前損害		61	新設設備、工事材料又は建設機械器具等について生じた不可抗力による施設の引渡前損害	●	▲※9
			62	企業団の帰責事由による引渡前損害	●	
	施設の契約不適合責任 (新設設備)		63	新設設備の契約不適合が発見された場合(契約不適合責任期間中)		●※10
			64	新設設備の契約不適合が発見された場合(契約不適合責任期間後)	●※10	

※4 企業団および事業者からの提案があり、新技術の内容や金額の増減(契約の変更)に両者が合意した場合(プロフィットシェア含む)
※5 企業団のリスク負担を基本とするが、被害を最小限にとどめる経済的動機付けのため、生じた損害の一部を事業者に負わせるもの
※6 リスク分担にない事象については企業団と事業者間で協議のうえ対応方法を決定する
リスク分担が定められた事業についても、その発生事象や発生事由に応じてリスク分担について協議を行うものとする
※7 調査結果として、要求水準書や閲覧資料等で明示した部分は事業者負担とする
※8 企業団の提示条件及び指示の不備・変更による設計変更、計画の変更など
※9 一定の割合を超える費用負担は企業団、それ以外は事業者の負担とし、その割合は工事請負契約書(案)において定める
※10 契約不適合責任期間は工事請負契約書(案)において定める

段階	リスクの種類		No.	リスクの内容	負担者※11	
					企業団	事業者
維持管理	施設	施設性能（新設設備）	65	新設設備の不具合、劣化、経年化等による性能不足に関するもの （契約不適合責任期間中）		●※12
			66	新設設備の不具合、劣化、経年化等による性能不足に関するもの （契約不適合責任期間後）	●※12	
			67	上記以外で事業者の帰責事由による不具合が発生した場合 （事業者の維持管理不足等によるもの）		●
			68	上記以外で企業団の帰責事由による不具合が発生した場合 （企業団の運転管理によるもの等）	●	
		施設性能（既設設備）	69	既設設備の不具合、劣化、経年化等による性能不足に関するもの	●※13	
			70	事業者の帰責事由による性能不足に関するもの （事業者による改良、維持管理の人為的なミス等に起因するもの）		●
			71	企業団の帰責事由による性能不足に関するもの （企業団による改良、更新、運転管理等に起因するもの）	●	
		施設の損傷	72	事業者の帰責事由による施設の損傷に関するもの		●
			73	企業団の帰責事由による施設の損傷に関するもの	●	
			74	第三者に起因する施設の損傷に関するもの	●	▲※14
		ライフライン・消耗品	75	企業団が提供する電気、水道等の供給停止に起因するもの	●	
			76	事業者が調達する消耗品等の不備に起因するもの		●
		通信システムの障害復旧、安全対策	77	事業者が使用するＯＡ機器等、事業者の帰責事由によるもの		●
			78	企業団の帰責事由によるもの	●	
	維持管理費の増加		79	事業者の帰責事由による維持管理費の増加		●
			80	企業団の帰責事由による維持管理費の増加	●※15	
	業務引継ぎ		81	事業開始時の業務引継ぎの不備	●	
			82	事業終了時の業務引継ぎの不備		●
	事業終了時の施設の状況		83	事業終了時の施設状況の要求水準の未達成		●

※11 リスク分担にない事象については企業団と事業者間で協議のうえ対応方法を決定する
　　リスク分担が定められた事業についても、その発生事象や発生事由に応じてリスク分担について協議を行うものとする
※12 契約不適合責任期間は維持管理業務委託契約書(案)において定める
※13 点検の不具合によるものは協議により決定する
※14 事業者の善管注意義務違反や業務不履行等によるもの
※15 企業団の提示条件及び指示の不備・変更による設計変更、計画の変更など